

取扱説明書

# Sara Combilizer



## 警告

怪我を避けるため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよくお読みください。



本取扱説明書を必ずお読み下さい

## 意匠方針と著作権

® および ™ は Arjoグループ会社に属する商標です。

© Arjo 2022年。

継続的に製品の改善を行っているため、事前に通知することなく設計を変更することがあります。この出版物の内容は、全部もしくは一部に関わらずArjo社の同意なしに、転写することを禁じられています。

# 内容

---

はじめに .....	4
使用目的 .....	5
安全に関する注意事項 .....	6
準備 .....	7
部品名称 .....	8
製品説明 / 機能 .....	10
Sara Combilizer の方向 .....	10
Sara Combilizer の姿勢 .....	11
キャストブレーキ .....	12
アームレスト .....	12
フットサポート .....	14
ショルダーサポート .....	16
マットレス .....	17
マットレスとピロー用カバー .....	20
アームレストクッション用カバーとフォーム .....	20
ティルト角インジケータ .....	21
液体バッグアタッチメントループ .....	21
横移動ハンドル .....	21
バッテリー .....	21
コントロール機能 .....	22
操作パネル .....	22
モード .....	22
モードカラー .....	23
モードの変更 .....	23
コントロールパネルのモード表示 .....	23
ボタンの機能 .....	24
安全ベルト .....	25
緊急停止機能と安全機能 .....	29
はさみ込み防止バー .....	29
緊急停止 .....	29
操作ボックス .....	29
操作 .....	32
ベッドから Sara Combilizer への患者の移乗 .....	32
Sara Combilizer からベッドへの患者の移乗 .....	36
座位から立位姿勢への患者の移乗 .....	39
立位から座位姿勢への患者の移乗 .....	41
姿勢の変更 .....	43
搬送 .....	46
洗浄と消毒の手順 .....	47
バッテリー使用上の注意 .....	54
点検・保守及びメンテナン .....	55
介助者の義務 .....	56
有資格担当者のみによる年次点検 .....	59
トラブルシューティングとアラーム .....	60
技術仕様 .....	62
寸法 .....	66
ラベル .....	68
電磁環境適合性 (EMC) .....	72
部品とアクセサリ .....	74

# はじめに

Arjo 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

Arjo 製品の操作とメンテナンスに関しては、弊社にお問い合わせください。

**Sara Combilizer® を使用する前に、本取扱説明書 (IFU) を読んで完全にご理解いただくようお願い致します。**

本取扱説明書の情報は、製品の正しい取扱いと保守を行う上で必要になります。取扱説明書は、製品の保護や性能など、お客様が満足を得られることを目的としています。本取扱説明書には患者と介護者の安全にとって重要な情報が含まれているため、怪我を避けるためにも一読して理解してください。

承認を受けずに行った Arjo 製品の改造は、安全性を損なう恐れがあります。承認を受けずに行った製品の改造が原因で発生した事故、未遂事故、製品不具合について、Arjo は責任を負いません。

## サービスおよびサポート

毎年、有資格担当者による Sara Combilizer の定期点検を実施して、製品の安全性と信頼性を維持してください。55 ページの「点検・保守及びメンテナンス」のセクションを参照してください。

長期にわたって製品の安全性、信頼性、価値を最大限に引き出すための、総合的なサポートとサービスメンテナンスについてのご相談や問い合わせは、Arjo 社へご連絡ください。交換部品については、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。電話番号は本取扱説明書の最後のページに記載されています。

医療機器もしくは福祉機器に関連して、お客様または患者様に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者様は、その事象を医療機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

## 本取扱説明書の定義：

### 警告

意味：  
安全上の警告内容の理解不足であったり、警告に従わなかった場合、他人も含めご自身も怪我をする恐れがあります。

### 注意

意味：  
手順に従わなかった場合、システム自体または製品の全体あるいは一部に不具合が発生する恐れがあります。

### 注記

意味：  
システムまたは製品の正しい使用方法に関する重要な情報です。



意味：  
メーカー名及び住所。

# 使用目的

本製品は、その使用目的をご理解の上で、本取扱説明書 (IFU) に記載されている安全の手順に従って使用してください。また、本機の使用者は取扱説明書の説明・指示を読みかつ理解している必要があります。

不明な点がある場合、Arjo 代理店にお問い合わせください。

## Sara Combilizer の使用目的

Sara Combilizer は、患者の早期離床、リハビリテーション及び介護を促進することを意図して開発されました。予定されているアクティビティに関する臨床アセスメントに適応した、あらゆるレベルの不動状態を有する人たちに使用できます。これには、虚弱な患者、受動的な患者及び歩行不能患者が含まれます。

意図された使用環境は、救命救急診療と長期急性期医療施設及びリハビリテーション病棟を含む病院です。

Sara Combilizer は仰臥位から立位姿勢へ、仰臥位からへ座位姿勢へ患者を体位変換するために使用することを意図しています。立位、座位及び横臥位で、Sara Combilizer はさまざまナリハビリ訓練に使用でき、Sara Combilizer を定期的に横向きにティルとすることで患者のリハビリ運動させることができます。

Sara Combilizer は治療用途に加えて、短い距離の搬送に使用できます。

Sara Combilizer では、患者を寝かせながら、ある病棟から別の病棟へ長い距離を搬送することは意図していません。

Sara Combilizer は、取扱説明書 (IFU) に記載されている仕様と指示に従って、ベルト、スライドシート及びリフトと共にのみ使用してください。

Sara Combilizer は、十分な医学的知識を有し、適切に訓練を受けている介助者が使用する必要があります。介助者は、一般的な医療行為や医療処置に関する知識を持ち、取扱説明書のガイドラインに従って Sara Combilizer を使用する必要があります。それ以外の使用は禁止します。

## 患者のアセスメント

それぞれの施設において、定期的に作業評価を行って頂くことをお勧めします。介助者は、使用前に以下の基準に基づいて各患者のアセスメントを実施しなければなりません。

- Sara Combilizer は、専門医師による臨床の評価を合格した患者にのみ使用できます。
- Sara Combilizer は、虚弱な患者、受動的な患者及び歩行不能患者を含む、患者のリハビリ活動を促進し、直立座位及び / または座位姿勢への速やかな移行を意図しています。
- 患者の体重は 200 kg (440 lbs) を超えてはなりません。
- 患者の身長は 140 cm (4'7") ~ 196 cm (6'5") の範囲になければなりません。

患者が上記の基準に当てはまらない場合、別の装置あるいはシステムを使用するようにしてください。

## 禁忌

Sara Combilizer は、患者が専門医師による臨床の評価に合致した場合、使用できません。

## サービス要件と想定寿命

取扱説明書に記載されている点検・保守やメンテナンスの手順に基づいて予防メンテナンスの手順に基づいて予防メンテナンスが実施されていることを前提に、特に明記していない限り、本製品の想定寿命は 10 年です。

# 安全に関する注意事項

## 警告

怪我を防止するため、絶対に患者様を一人にさせないでください。

## 警告

移乗中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてにブレーキをかけるようにしてください。

## 警告

落下を防止するために、患者が正しい姿勢と位置にあり、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

## 警告

落下防止のために、利用者様の体重が使用されている全ての製品あるいは付属品の安全耐荷重よりも軽いことを確認してください。

## 警告

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときには固定されたものに気をつけてください。

## 警告

患者や介助者の足が挟まらないように、あらゆる障害物との間に十分な距離をとってください。

## 警告

患者の挟み込みを防止するため、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

## 警告

製品が傾いて患者が落下するのを防ぐため、排水溝や穴の上での使用、また 1:50 (1.15°) を超える勾配があるフロア上で本製品を使用しないでください。

## 警告

爆発や火災を防止するため、酸素濃度の高い環境、熱源や可燃性の麻酔剤が存在する場所では決して製品を使用しないでください。

## 警告

製品が傾いて患者が落下するのを防ぐため、製品の頭部先端や足部先端に座らないでください。

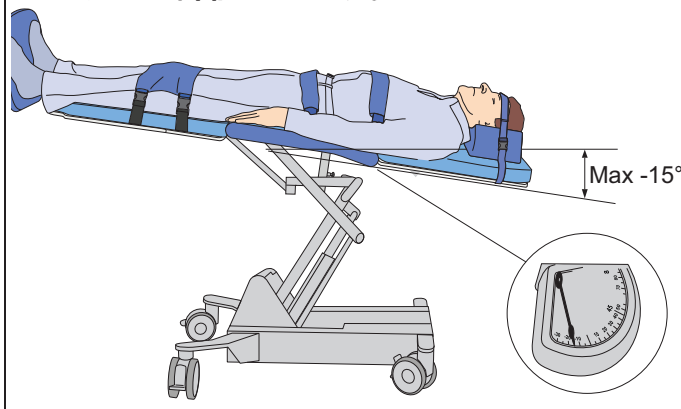
## 警告

外部エアや点滴剤が患者へ供給されなくなるのを防ぐために、チューブを障害物から離して、常に監視するようにしてください。

## 警告

負傷のリスクを避けるために、患者の頭を下に向けた Sara Combilizer は  $-15^{\circ}$  以上傾けないでください。

傾きの度合いは、Sara Combilizer のヘッドセクションの下に置かれたチルト角度インジケーターで評価できます。





# 準備

## 初めて使用するにあたって (16のステップ)

1. シャーシとフットサポートの周囲にある梱包材とストラップを取り除きます。
2. 梱包材は国内規制に従ってリサイクルして下さい。62ページの「技術仕様」のセクションを参照してください。
3. すべてのダンボール箱を開梱します。
4. 小さい箱に入っている取扱説明書を取り出し、お読みください。
5. 輸送による破損がないか Sara Combilizer を目視点検してください。
6. 製品の部品がすべて揃っているか確認し、8ページの「部品名称」のセクションを参照してください。不足あるいは損傷している部品がある場合、製品を使用しないでください！
7. 19ページの「ピロー」のセクションを参照の上、ピローを取り付けます。
8. 搬送ハンドル上のハンドコントロールケーブル接続ポイントに挿入されている保護プラグを取り外し、安全な場所に保管してください。保護プラグは、クリーニングや消毒の間、必要になります。
9. 搬送ハンドル上のハンドコントロールケーブル接続ポイントにハンドコントロールを接続します。22ページの「コントロール機能」のセクションを参照してください。
10. バッテリー充電器を開梱します。充電及び充電器の設置に関する手順は、NEA 8000 バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。
11. バッテリーを 24 時間充電します。
12. 充電したバッテリーをシャーシに取り付けて、機能テストを実施します。58ページの「機能テストの実施」のセクションをご参照ください。
13. 特殊繊維カバー、安全ベルト、アタッチメントストラップ、バッテリー及び保護プラグは乾燥した安全な場所に保管してください。
14. 51ページの「毎月のクリーニング/消毒」に従って、製品を掃除及び消毒してください。
15. 取扱説明書を安全でいつでもアクセス可能な場所に保管してください。
16. 患者様の救急事態に備えて、緊急プランをあらかじめ作成してください。

## 毎回の使用にあたっての措置 (5ステップ)

1. Sara Combilizer の部品がすべて揃っているかチェックします。本取扱説明書の部品名称のセクションに照らし合わせてください。

### 2. 警告

患者が落下するのを防止するために、安全ベルトが損傷していないことを確認してください。損傷している場合、その安全ベルトは使用せず、新しいものと交換してください。

安全ベルトを点検します。55ページの「点検?保守及びメンテナンス」のセクションを参照してください。

3. 不足あるいは損傷している部品がある場合、製品を使用しないでください。
4. バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。NEA 8000 バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

### 5. 警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

次の患者に使用する前に、製品を掃除及び消毒してください。47ページの「洗浄と消毒の手順」のセクションを参照してください。

### 注記

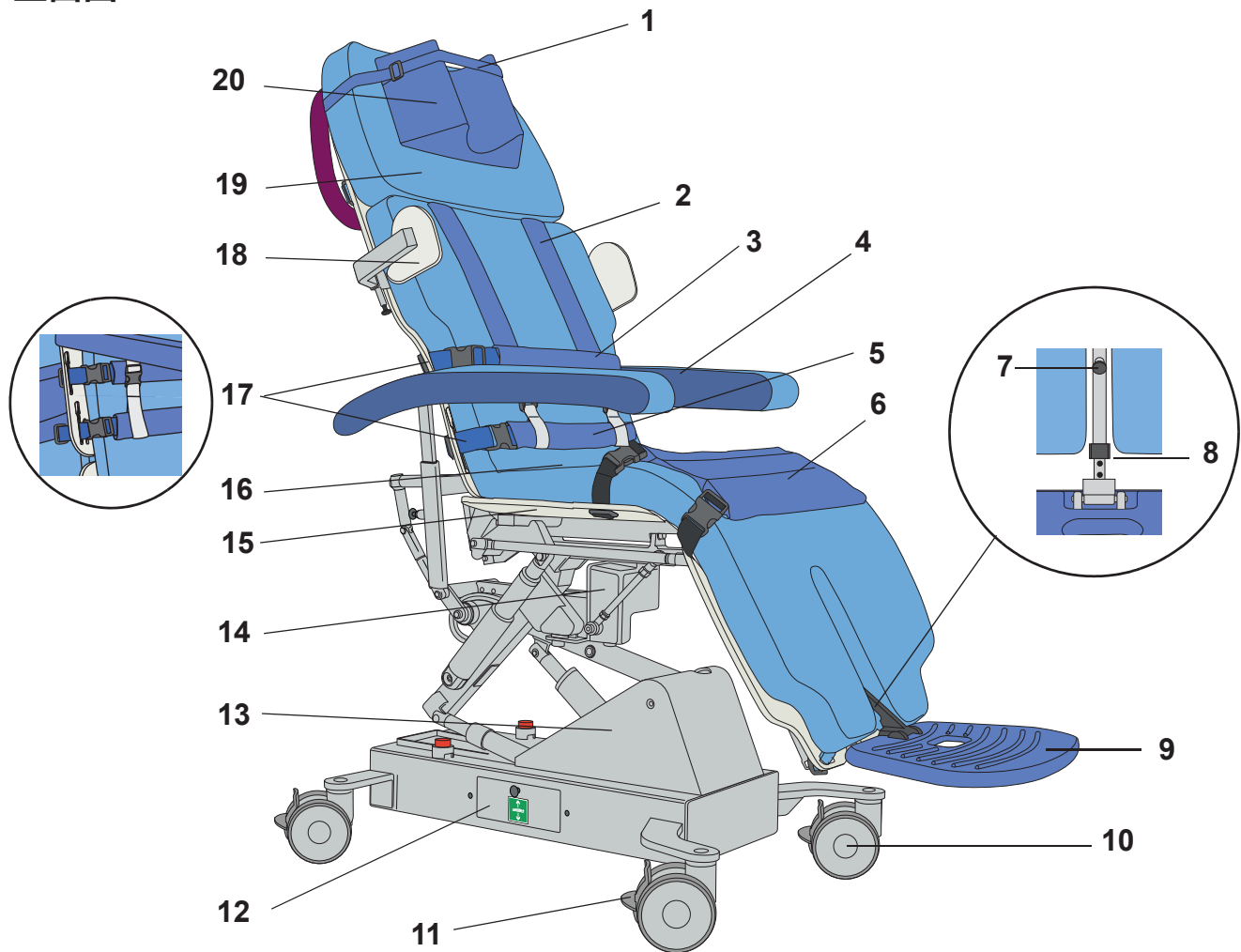
サポートとサービスに関する質問は、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

### 注意

低温の状態で使用すると損傷する恐れがあるため、0°C (32°F) 以下で保存した直後に Sara Combilizer を使用しないでください。Sara Combilizer の温度が室温になるまで部屋に放置してからご使用ください。

# 部品名称

## 正面図



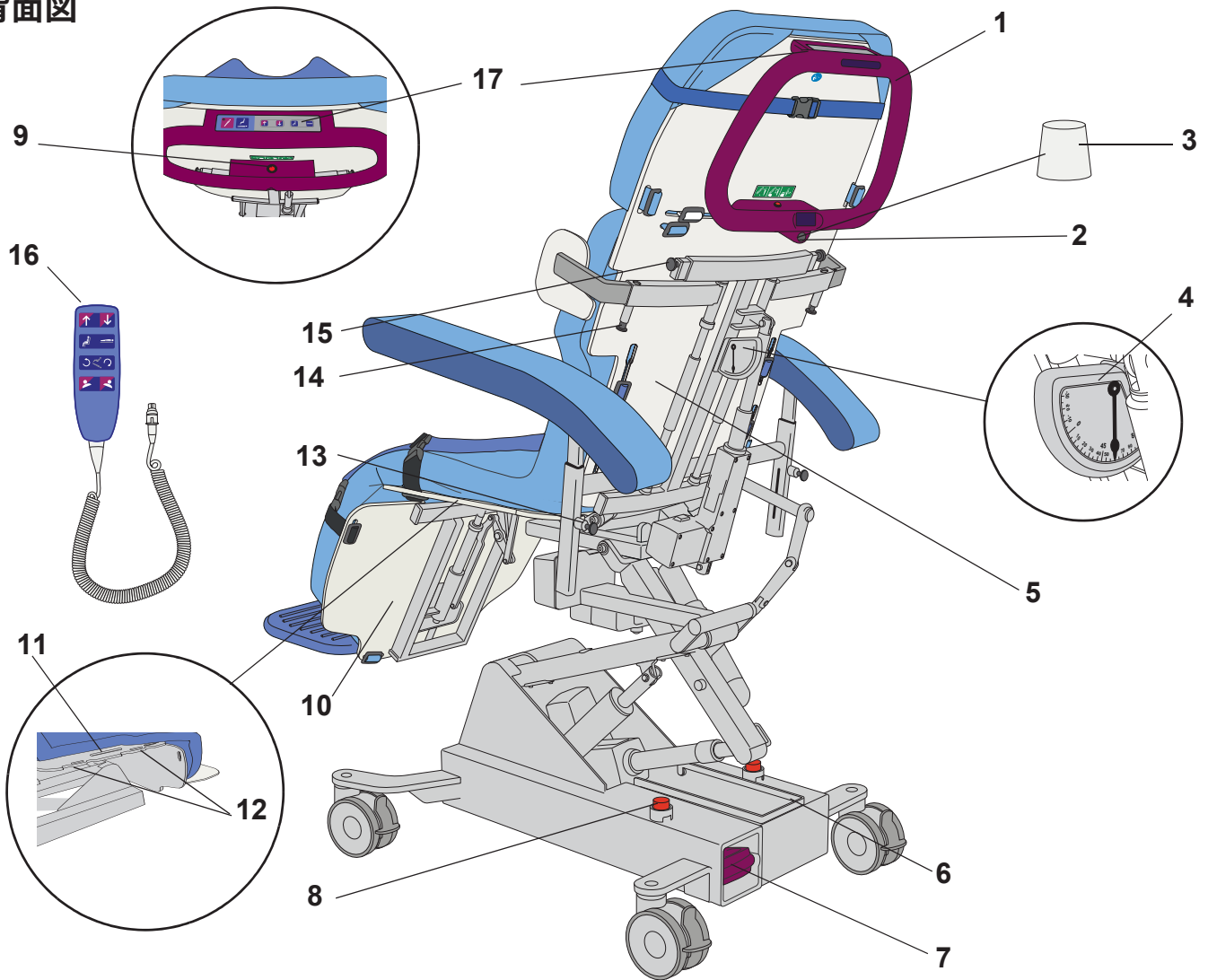
- |                              |                          |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 頭部安全ベルト*                  | 14. モード変更機構              |
| 2. ショルダー安全ベルト*               | 15. シートプレート              |
| 3. 胸部安全ベルト*                  | 16. ボディマットレス*            |
| 4. アームレスト*(x2)               | 17. ベルトアタッチメントストラップ*(x8) |
| 5. 臀部安全ベルト*                  | 18. ショルダーサポート*(x2)       |
| 6. 膝安全ベルト*                   | 19. 頭部マットレス*             |
| 7. スプリングロック<br>(フットサポート長調節用) | 20. ピロー*                 |
| 8. 留め具<br>(フットサポート長調節用)      | * = 着脱式パーツ               |
| 9. フットサポート*                  |                          |
| 10. キャスター(x4)                |                          |
| 11. キャスターブレーキ<br>(各キャスターに装備) |                          |
| 12. 操作ボックス                   |                          |
| 13. シャーシ及びリフト機構              |                          |

### 特殊アイテム:

- 頭部ピローカバー1枚
- 頭部マットレスカバー1枚
- ボディマットレスカバー1枚
- アームレストカバー2枚
- 胸部ベルト1本、臀部ベルト1本、膝安全ベルト1本 (カバー、パッド、ベルトアタッチメントストラップを含む)



# 背面図



- |                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 搬送ハンドル                           | 12. アタッチメントスロット<br>(x4) (液体バッグ用)    |
| 2. ハンドコントロールケーブル<br>接続ポイント          | 13. スプリングロック (x2)<br>(アームレスト高さ調節用)  |
| 3. 保護プラグ*<br>(ハンドコントロール接続<br>ポイント用) | 14. スプリングロック (x2)<br>(ショルダーサポート幅用)  |
| 4. ティルト角インジケータ                      | 15. スプリングロック (x2)<br>(ショルダーサポート解除用) |
| 5. 背もたれプレート                         | 16. ケーブル付きハンドコント<br>ロール*            |
| 6. はさみ込み防止バー                        | 17. コントロールパネル                       |
| 7. バッテリー*                           |                                     |
| 8. 非常停止ボタン (x2)                     |                                     |
| 9. ティルトテーブル解除ボ<br>タン                |                                     |
| 10. レッグサポートプレート                     |                                     |
| 11. 横移動ハンドル (x2)                    |                                     |

\* = 着脱式パーツ



製品全体  
適用部品：B等級  
IEC 60601-1に基づく  
感電に対する保護。

### 特殊アイテム:

- バッテリー充電器付き  
追加バッテリー1個

# 製品説明 / 機能

このセクションには、*Sara Combilizer* の部品、その機能及び機器を安全に使用するための関連情報が記載されています。部品は 8 ページの「部品名称」及び 9 に記載されています。

コントロール機能に関する情報については、22 ページの「コントロール機能」のセクションをご参照ください。

安全ベルトに関する情報については、25 ページの「安全ベルト」のセクションをご参照ください。

## Sara Combilizer の方向

### 右と左

*Sara Combilizer* の右側と左側は左図のように定義します。(図 1 参照)

図 1



### 患者の姿勢

*Sara Combilizer* を使用する際は、患者の頭が頭部先端に、足が足部先端に向くようにして患者を配置します。患者の臀部を背もたれプレートとシートプレート間の隙間の中央に配置してください。(図 2 参照)

図 2

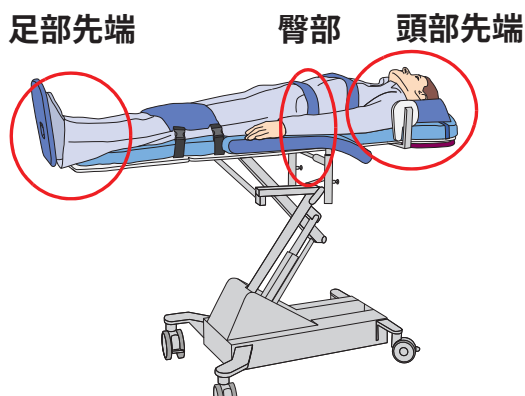
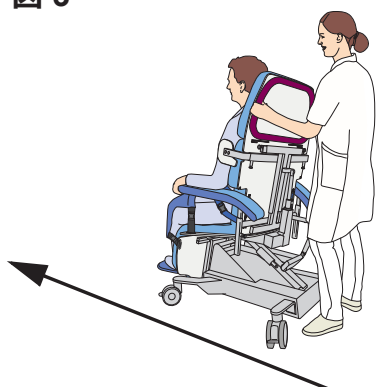


図 3



### 移動の方法

介助者は搬送の際、*Sara Combilizer* の後方にいる必要があります。(図 3 参照)

## Sara Combilizerの姿勢

Sara Combilizerは、使用中、以下のようにさまざまな姿勢にセットできます：

図 4

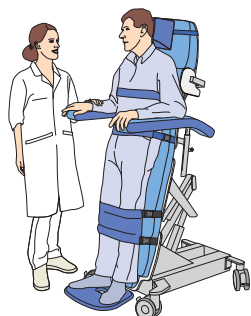


### ストレッチャー姿勢

この姿勢は、患者をベッドに、あるいは患者をベッドから移乗する際に使用します。(図 4 参照)

Sara Combilizerは、ティルトテーブル姿勢への変更が可能になる前に、水平かつ最低位置にする必要があります。

図 5

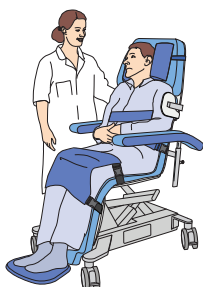


### ティルトテーブル姿勢

この姿勢は、患者を立位姿勢にする際に使用します。角度は  $0^{\circ}$  ~  $75^{\circ}$  の間に調節できます。ティルトテーブルの角度が  $0^{\circ}$  であるとき、テーブルは水平位置にあります。(図 5 参照)

Sara Combilizerは、ストレッチャー姿勢への変更が可能になる前に、水平かつ最低位置にする必要があります。

図 6

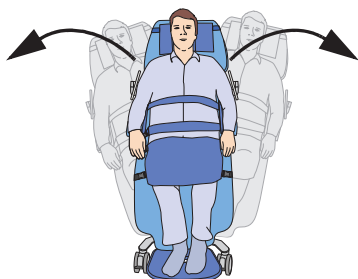


### チェア姿勢

この姿勢は、患者を座位姿勢にする際に使用します。チェアは後方及び前方に傾けて、水平のチェア姿勢にすることができます。(図 6 を参照)

スペースを節約するため、Sara Combilizerはチェア位置にして保管してください。

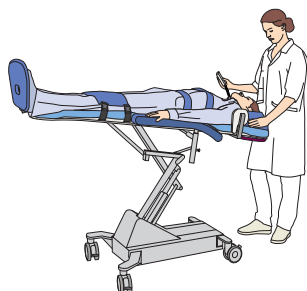
図 7



### ティルト姿勢 (左/右)

Sara Combilizerの横方向への傾斜は、ストレッチャー、チェア及びティルトテーブル姿勢で実施できます。(図 7 参照)

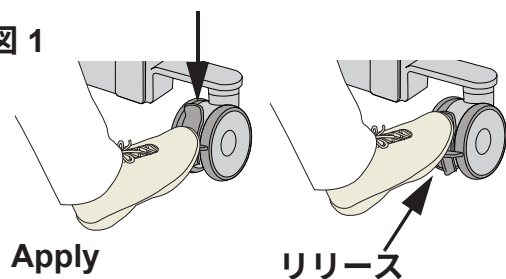
図 8



### 低頭位傾斜 (トレンデレンブルグ) 姿勢

水平のストレッチャー姿勢にあるとき、製品は低頭位ティルト姿勢まで傾けることができます ( $-12^{\circ}$  以上)。  $0^{\circ}$  ~  $-25^{\circ}$  までの角度に調整することが可能です。負傷のリスクを避けるために、患者の頭を下に向けた状態で Sara Combilizerを  $-15^{\circ}$  以上傾けないでください。(図 8 参照)

図 1



## キャスターブレーキ

4つのキャスターにはそれぞれブレーキレバーが付いています。キャスターブレーキは、少なくとも2つのキャスターにかける必要があります。可能ならば、4つのキャスターすべてにブレーキをかけるよう推奨します。(図1参照)

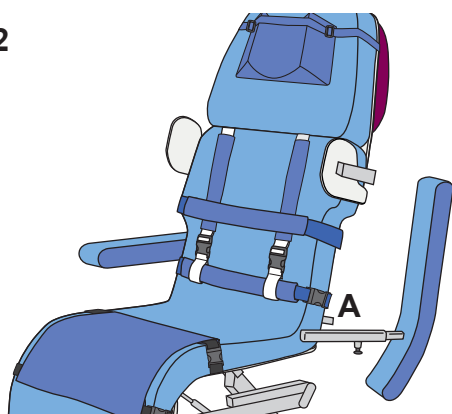
### ブレーキをかけるには：

グレーのキャスターブレーキレバーを押し下げます。

### ブレーキを解放するには：

グレーのキャスターブレーキレバーを軽く持ち上げます。

図 2



## アームレスト

Sara Combilizer には2つのアームレストがあります。アームレストは幅と高さが調節でき、取り外すこともできます。

Sara Combilizer の位置を変更するときは、アームレストは水平位置のままとなります。高さと幅を手動で調整することも可能です。

### アームレストの取り付け (3ステップ)

1. アームレストが垂直位置になるまで、90度上下に回します。(図2参照)
2. アームレストを接続ロッド上でスライドさせます (A)。(図2参照)
3. アームレストをその水平位置まで降ろします。(図3参照)

図 3

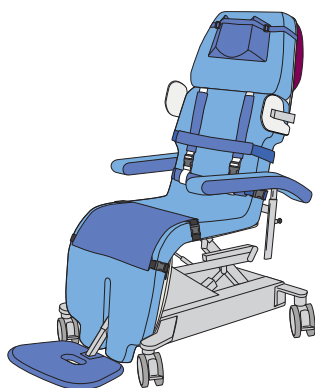
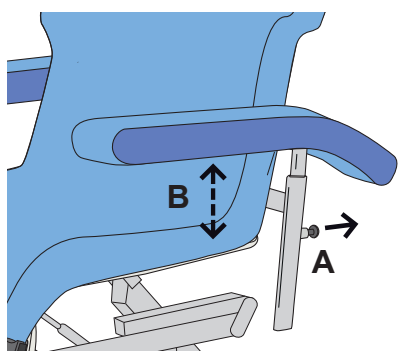


図 4

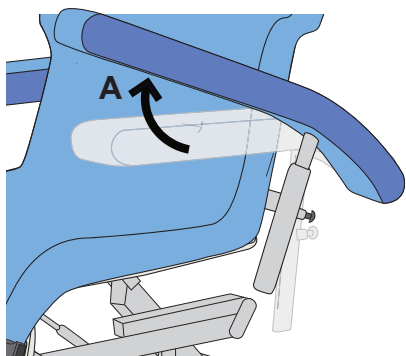


### アームレストの高さ調整 (2ステップ)

複数の高さ位置から選ぶことができます。

1. 一方の手でアームレストを押さえ、他方の手でスプリングロックノブを引いたままにします (A)。(図4参照)
2. アームレストを上昇または下降させ (B)、スプリングロックノブを解放します。(図4参照)

図 5



### アームレスト幅の調整 (3 ステップ)

複数の幅から選ぶことができます。

1. アームレストを上下に少し傾けます (およそ 20 度) (A)。(図 5 参照)
2. バー (B) をつかみ、アームレストを引き、または押して、幅を調整します。(図 6 を参照)
3. アームレストをその水平位置まで降ろします。(図 7 参照)

図 6

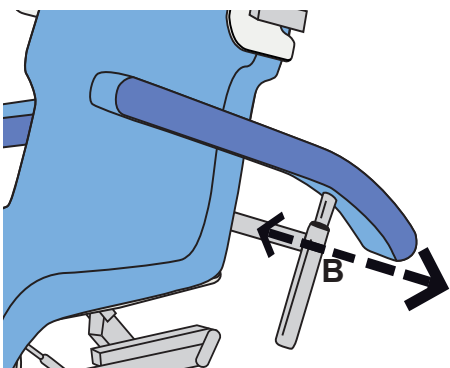


図 7

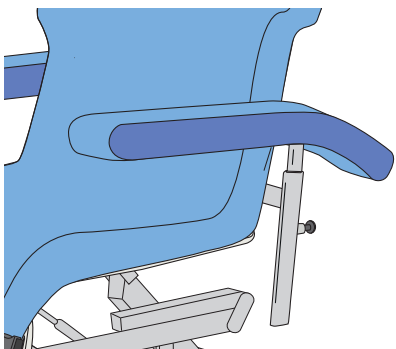
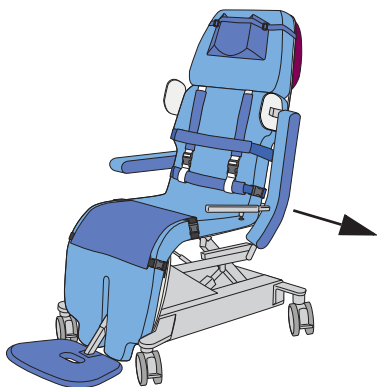


図 8



### アームレストの取り外し (3 ステップ)

1. アームレストが最も外側の位置にあることを確認してください。  
13 ページの「アームレスト幅の調整 (3 ステップ)」を参照してください。
2. アームレストをつかみ、垂直位置になるまで、90 度上下に回します。(図 8 参照)
3. アームレストを引き出して、取り外します。



## フットサポート

*Sara Combilizer* にはフットサポートが付いています。フットサポートは長さの調節が可能です。フットサポートは取り外すことも可能です。

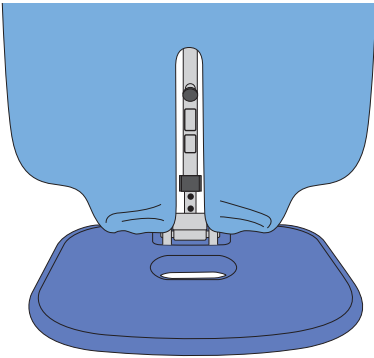
図 1



*Sara Combilizer* は、位置変更の間、シートとフットサポートの距離を自動的に調節します。フットサポートは手動で調節することも可能です。位置変更した後は、常に手動で調節することを推奨します。

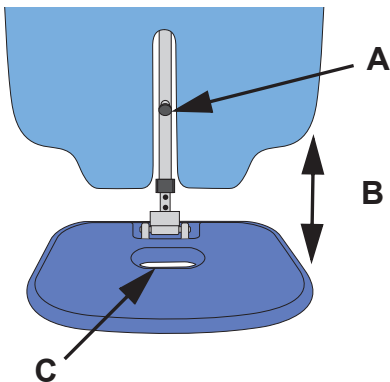
チェア姿勢でフットサポートを調節するには、*Sara Combilizer* を人間工学に基づいた高さまで上昇させます。患者の体重がかかっているフットサポートを太ももで支えながら、調節をすると良いでしょう。  
(図 1 参照)

図 2



*Sara Combilizer* がテイルテーブル姿勢にあるとき、フットサポートは最高位置にしてください。(図 2 参照)

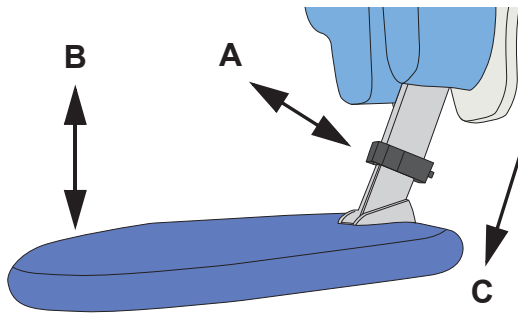
図 3



### フットサポートの長さ調整 (4 ステップ)

1. 上のスプリングロック (A) を引き出します。  
(図 3 参照)
2. フットサポートハンドル (C) を用いて、フットサポートプレート (B) を上昇または下降させることで、フットサポートを調節します。(図 3 参照)
3. スプリングロックを解除します。
4. 上下に押したり引いたりすることで、フットサポートが固定されていることを確認してください。

図 4



### フットサポートの追加長さ調整（4ステップ）

1. 下部にある留め具 (A) を前に引きます。留め具は解除しないでください。(図 4 参照)
2. フットプレート (B) を上昇または下降させることで、フットサポートアームの長さを調節します。(図 4 参照)
3. 留め具 (A) を解除します。(図 4 参照)
4. 上下に押したり引いたりすることで、フットサポートが固定されていることを確認してください。

### フットサポートの取り外し（3ステップ）

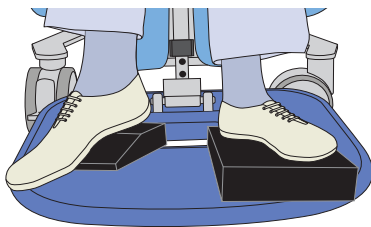
1. 下部にある留め具 (A) を前に引きます。留め具は解除しないでください。(図 4 参照)
2. フットサポート (C) を取り外します。(図 4 参照)

#### 警告

フットサポートプレートは重量があります。作業中に怪我をしないよう注意してください。

3. 留め具を解除します。

図 5



### 高さ調節用フットサポートブロック（アクセサリ）

より快適な姿勢にするために、患者の足の下にブロックを置いて高さを調節します。(図 5 参照) 74 ページの「部品とアクセサリ」のセクションを参照してください。

## ショルダーサポート

Sara Combilizer には 2 つのショルダーサポートがあります。ショルダーサポートは幅の調節が可能で、移乗の際、折りたたんだり、取り外したりすることができます。

### ショルダーサポート幅の調節 (4 ステップ)

1. 背もたれの後ろにあるスプリングロック (A) を引き出します。(図 1 参照)
2. ショルダーサポートを希望する幅にします (B)。(図 1 参照)
3. スプリングロックを解除します。
4. 内と外に押したり引いたりすることで、ショルダーサポートが固定されていることを確認してください。

### ショルダーサポートを折りたたむ

#### 注記

ショルダーサポートは素早く折りたたむことができます。

#### 介助者側 (2 ステップ)

1. スプリングロック (A) を押し込みます。(図 2 参照)
2. ショルダーサポート (B) を折りたたむことができます。(図 2 参照)

#### 介助者の反対側 (2 ステップ)

1. スプリングロック (A) を引き出します。(図 2 参照)
2. ショルダーサポート (C) を折りたたむことができます。(図 2 参照)

### ショルダーサポートを折りたたむ (2 ステップ)

1. 所定の位置にロックするまでショルダーサポートを持ち上げてください。(図 3 参照)
2. 押しったり引いたりすることで、ショルダーサポートが固定されていることを確認してください。

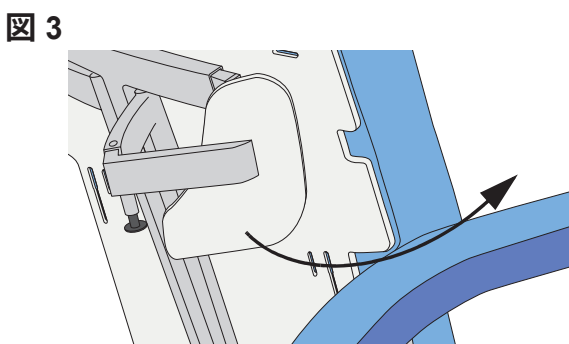
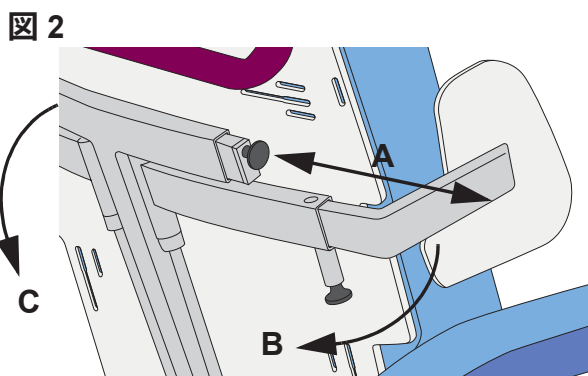
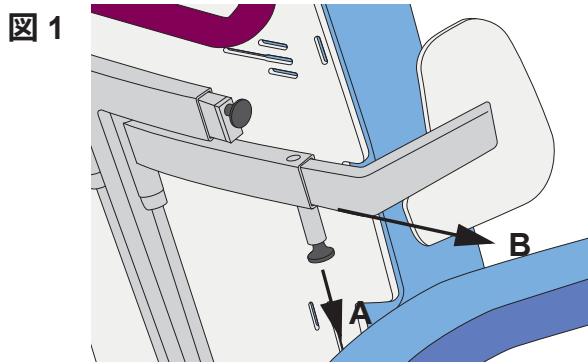
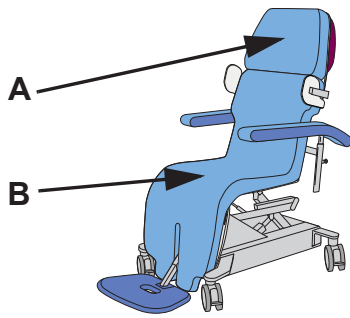


図 1

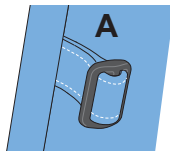


## マットレス

マットレスとして、頭部マットレス (A) とボディマットレス (B) が1個ずつあります。(図1参照)

マットレスの取り付けあるいは取り外しを行う場合、*Sara Combilizer* をチェア姿勢にすることを推奨します。

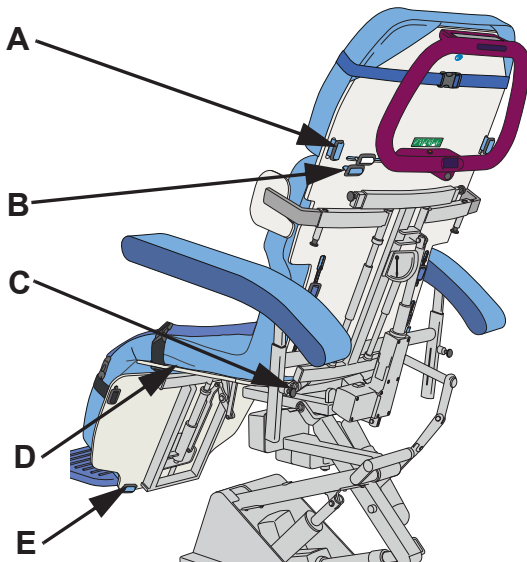
図 2



## マットレスアタッチメントストラップ

頭部マットレスには、先端にスリッロックが付いている、2個のアタッチメントストラップが、ボディマットレスには8個のアタッチメントストラップ (A) があります。(図2参照)

図 3



## 取り付け点

A: 背もたれプレート、頭部 (x2)

B: 背もたれプレート、肩部 (x2)

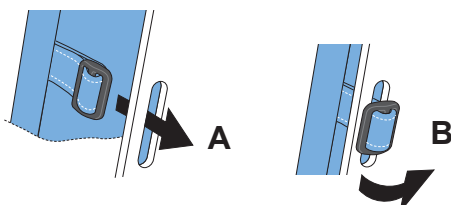
C: 背もたれプレート、下半身部 (x2)

D: シートプレート (x2)

E: レッグサポートプレート (x2)

(図3参照)

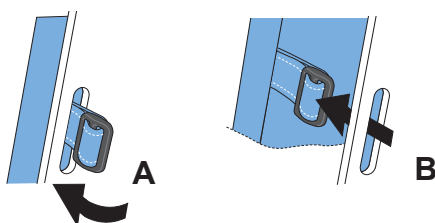
図 4



## マットレスアタッチメントストラップの取り付け (3ステップ)

1. マットレスアタッチメントストラップをスロット (A) に通します。(図4参照)
2. 該当する場合、アタッチメントストラップには内側の短いスロットを常に使用してください。
3. アタッチメントストラップの向きを変えて、アタッチメントが固定するよう引っ張ります (B)。(図4参照)

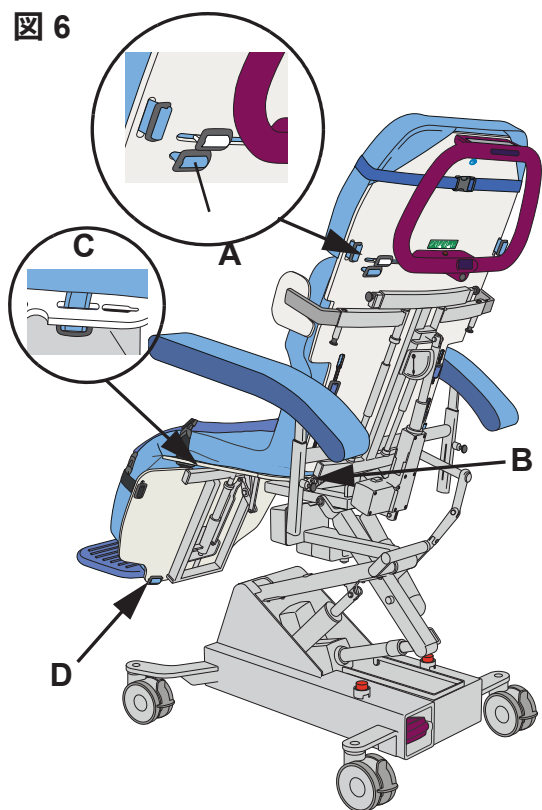
図 5



## マットレスアタッチメントストラップの取り外し (2ステップ)

1. アタッチメントストラップをスロット (A) へさらに押し込んで、ストラップを緩めます。(図5参照)
2. アタッチメントストラップの向きを変えて、ストラップをスロットから引き出します (B)。(図5参照)

図 6



### ボディマットレスの取り付け (5 ステップ)

1. ボディマットレスをサポート面の上部に配置します。
2. スリッロック付きのアタッチメントストラップを、背もたれプレート上にある下部スロット (A) に取り付けます。(図 6 を参照)
3. スリッロックの向きを変えて、背もたれプレートに固定します。
4. アタッチメントストラップの固定にも上記と同じように繰り返します (B, C, D)。(図 6 を参照)
5. 該当する場合、マットレスの取り付けには、内側のスロットを常に使用してください。

### ボディマットレスの取り外し (2 ステップ)

1. ボディマットレスアタッチメントストラップをサポートプレートから取り外します。(図 6A-D 参照)
2. マットレスを外します。

### 頭部マットレスの取り付け (3 ステップ)

1. 頭部マットレスカバーポケット (図 7A 参照) を背もたれプレートの上隅に取り付けます。
2. 頭部マットレスアタッチメントストラップを、背もたれプレート上にあるスロット (図 7B 参照) に取り付けます。
3. スリッロックバックルの向きを変えて、背もたれプレートに固定します。

### 頭部マットレスの取り外し (2 ステップ)

1. 頭部マットレスアタッチメントストラップをサポートプレートから取り外します。(図 7B 参照)
2. 頭部マットレスを持ち上げて、背もたれプレートから取り外します。

図 7

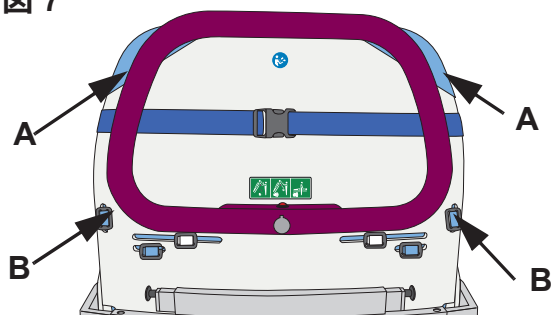
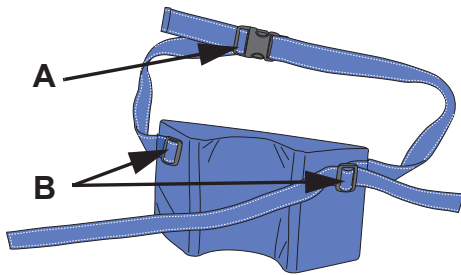




図 8



## ピロー

*Sara Combilizer* 頭部ピローは患者の頭部を支えます。  
(図 8 参照)

頭部ピローには、先端にバックルが付いているストラップが 2 本あります (A)。ピローには、頭部ベルトを取り付けるためのスリッロックも 2 本あります (B)。

### ピローの取り付け (4 ステップ)

1. ピローを頭部マットレス上に配置します。  
(図 9 参照)
2. ストラップを背もたれプレートの周囲と搬送ハンドルの下に配置します。(図 10 参照)
3. ストラップをバックルで連結してピローを固定します。
4. 締めるには、ストラップを調節します。

図 9

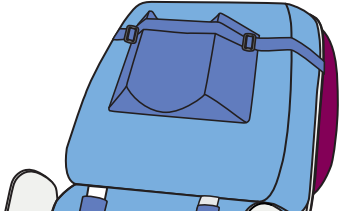
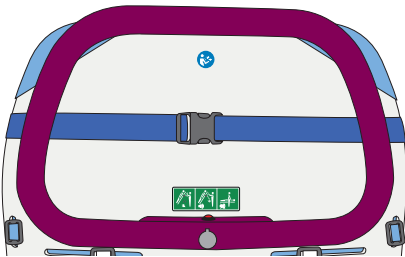


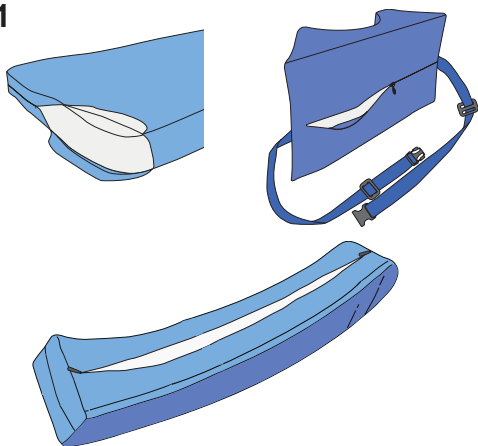
図 10



### ピローの取り外し (2 ステップ)

1. ピローストラップのバックルを外します。  
(図 10 参照)
2. ピローを外します。

図 1



## マットレスとピロー用カバー

頭部マットレス、ボディマットレス、ピロー、アームレストクッション及び安全ベルトカバーはすべて、取り外して洗浄及び消毒できます。

### カバーの取り外し（2ステップ）

1. カバーのジッパーを開けます。（図 1 参照）
  - ボディマットレス：上部
  - 頭部マットレス：下部
  - ピロー：後部
2. フォームを圧縮させて、カバーを取り外します。

### フォームをカバーに挿入（3ステップ）

1. カバーを裏返しにします。
2. フォームを圧縮させて、カバーに挿入します。
3. ジッパーを閉じます。

## アームレストクッション用カバーとフォーム カバーをアームレストから外す（3ステップ）

1. アームレストの下部にあるジッパーを開けます。（図 1 参照）
2. アームレスト（カバーとフォーム）をアームレストフレームから取り外します。
3. フォームを圧縮させカバーをまくり上げるようにしてカバーを外します。

### カバーをアームレストに取り付ける（4ステップ）

1. アームレストカバーにあるジッパーを開けます。
2. アームレストフォームをアームレストカバーに入れます。
3. アームレスト（カバーとフォーム）をアームレストフレームに取り付けます。（図 2 参照）
4. ジッパーを閉じます。

図 2

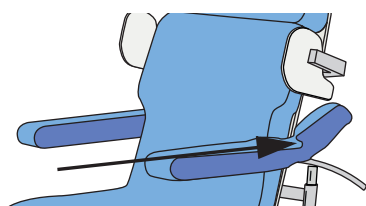
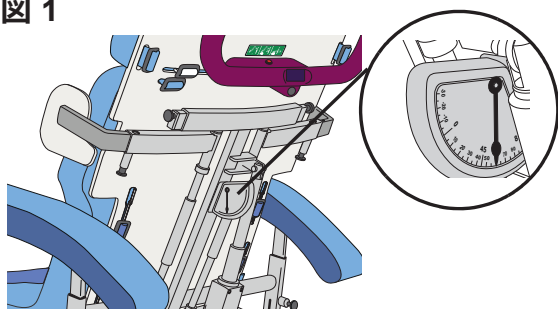


図 1



## ティルト角インジケータ

ティルト角インジケータには、ティルトテーブルを上昇及び下降させている際の角度が表示されます。

(図 1 参照)

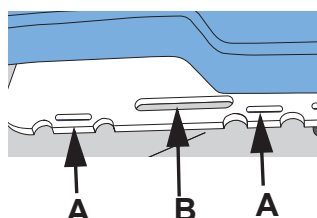
ティルト角インジケータは、臨床的判断を行うために使用することを意図していません。ティルト機能を使用する際は、介助者は臨床的判断を行う必要があります。

可動範囲は、 $-25^{\circ} \sim 75^{\circ}$  です。ゲージの正確性と動作精度は  $\pm 5^{\circ}$  です。

### 注記

Sara Combilizer が横に傾けられているときは、ティルト角インジケータは動作しません。

図 2



## 液体バッグアタッチメントループ

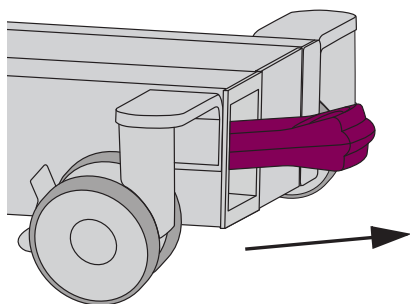
シートプレートの両側には液体バッグ（カテーテルバッグ等）を取り付けるためのスロットがあります。

(図 2A 参照)

## 横移動ハンドル

シートプレートの両側には Sara Combilizer を横方向に移動させるための取っ手があります。(図 2B 参照)

図 3



## バッテリー

Sara Combilizer には 2 個のバッテリーが付属します。交換用バッテリーは常に充電しておくようにしてください。

バッテリーの取り外し：まっすぐ引き出します。

(図 3 参照)

**低バッテリー/バッテリー残量なし：**ハンドコントロール/コントロールパネルのボタンを押すと短いブザー音が一定間隔で鳴ります。ボタンを離れた後も、10 秒間鳴ります。バッテリーを直ちに交換してください。

バッテリー残量なしが示されている場合でも以下が可能です：

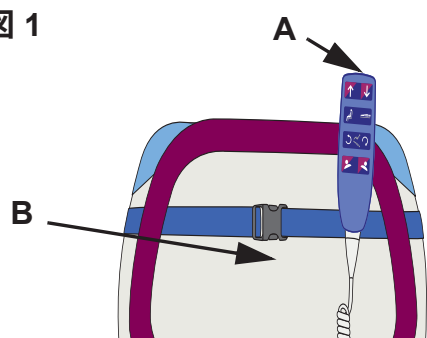
- チェア/ストレッチャー/ティルトテーブルの下降
- チェアからストレッチャー姿勢への変更
- 左/右ティルト
- チェアまたはストレッチャーの直立ティルト/後方ティルト

上記以外の動作はできません。

バッテリーの詳細情報については、54 ページの「バッテリー使用上の注意」のセクションをご参照ください。

# コントロール機能

図 1



## 操作パネル

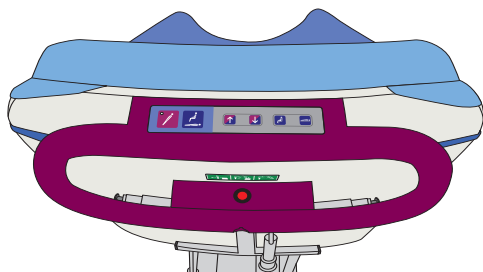
*Sara Combilizer* は 2つのコントロールユニット、すなわちハンドコントロールとコントロールパネルを装備しています。

### • ハンドコントロール

ハンドコントロールは *Sara Combilizer* をあらゆる姿勢へ変更するのに使用できます。モードの変更には使用できません。

使用しないとき、ハンドコントロールは搬送用ハンドルに掛けてください (A)。ハンドコントロールケーブルは、搬送用ハンドルに取り付けます (B)。(図 1 参照)

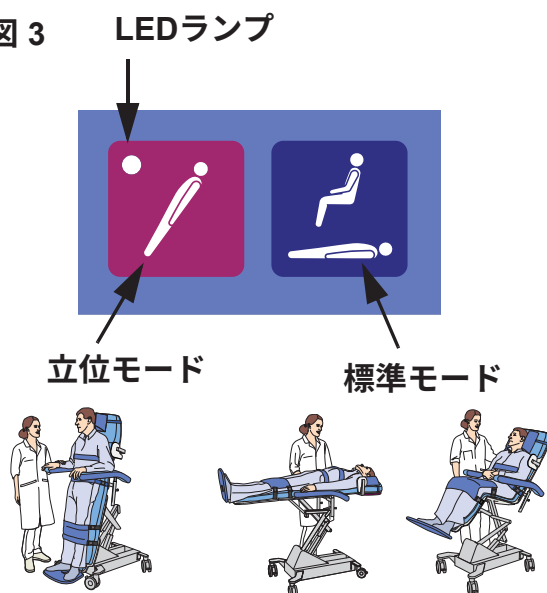
図 2



### • コントロールパネル

コントロールパネルはモードを変更するのに使用できます。また、基本動作のバックアップ機能も装備しています。(図 2 参照)

図 3



## モード

2つのモードがあります。(図 3 参照)

以下の動作がさまざまなモードで可能です:

### 立位モード (赤)

- 上昇 / 下降
- 左 / 右へのテーブル傾斜

### 標準モード (標準)

- 上昇 / 下降
- チェア / ストレッチャーへの変更
- ストレッチャーとして後方 / 直立ティルト (トレンブルブルグ姿勢)
- チェアとして後方 / 直立ティルト
- チェア / ストレッチャーとして左 / 右に傾斜

図 4



## モードカラー

ボタンの機能は選択したモードに依存します。ボタンの背景色は、どのモードでボタンが使用できるのかを示します。(図 4 参照)

- 青色 (A) = 標準モード
- 赤及び青色 (B) = 立位及び標準モード

## モードの変更

コントロールパネルはモードを変更するためにのみ使用できます。

モードの変更は次の 2 つの方法で実施できます：

- コントロールパネル上の「モードの変更」を使用する
  1. 選択したモードの変更ボタンを押す (LED ランプが点滅を開始して、*Sara Combilizer* が正しい姿勢に移行していることを示します)。
  2. LED ランプが点灯 (立位モード) になるか、消灯 (標準モード) するまでボタンを押し続けます。
  3. *Sara Combilizer* が水平ストレッチャー姿勢とその最低高さになったときにのみ、モードの変更が生じます。
- ハンドコントロールのボタンを押して、コントロールパネルのモード変更ボタンを押す
  1. ハンドコントロール上の選択したボタンを押して、*Sara Combilizer* を水平ストレッチャー姿勢とその最低高さにします。
  2. 選択したモード変更ボタンを押す (LED ランプが点滅を開始して、*Sara Combilizer* がモード変更を準備していることを示します)。
  3. LED ランプが点灯 (立位モード) になるか、消灯 (標準モード) するまでボタンを押し続けます。

## コントロールパネルのモード表示

コントロールパネルの立位モードボタンには緑の LED ランプがあります。

立位モードボタンを押すと、LED は点滅を開始し、モード変更が完了すると、点灯します。

15 分間でボタンが押されない場合、LED ランプは消灯します (スリープモード)。立位モードでボタンを押すと、再び点灯します。

標準モードのとき LED ランプは消灯します。標準モードを選択すると、LED ランプは点滅を開始し、モード変更が完了すると、消灯します。



図5 コントロールパネル  
モードの変更

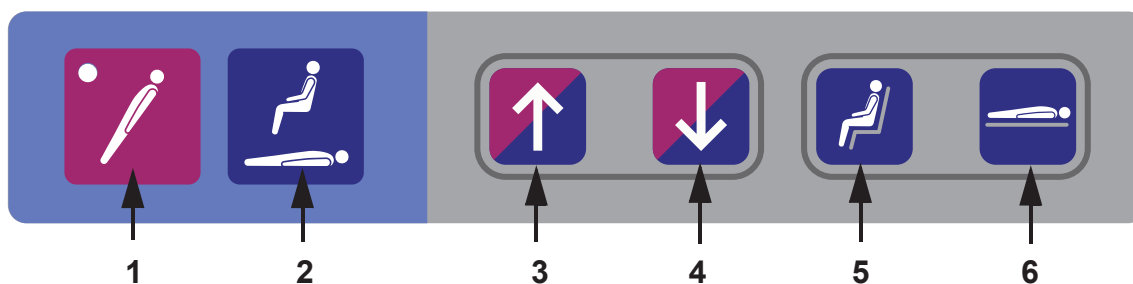
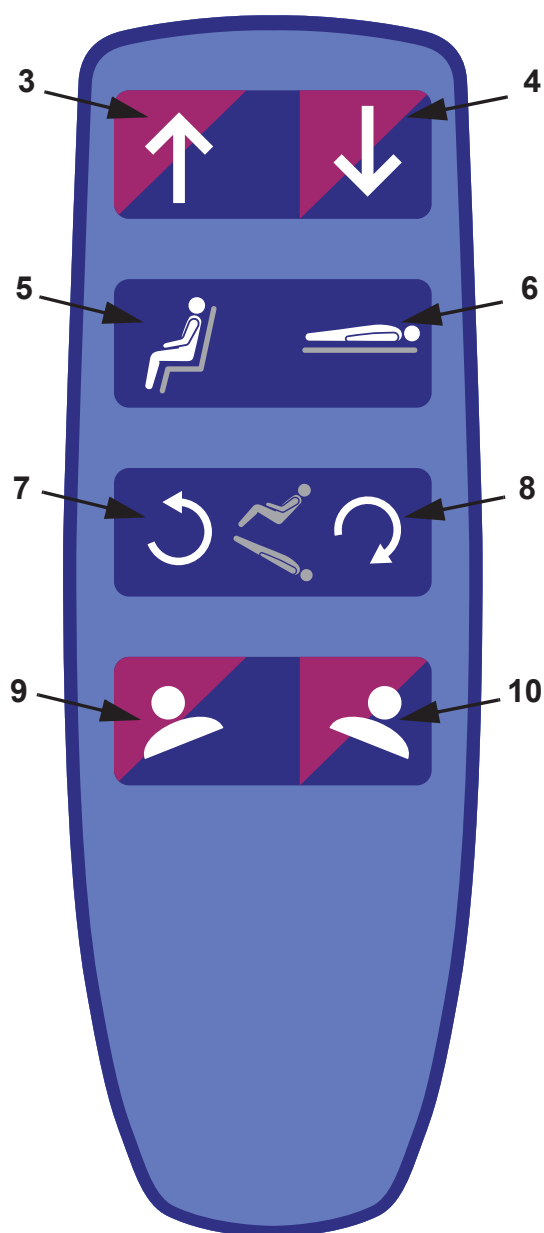


図6 ハンドコントロール



ボタンの機能  
(図5と図6参照)

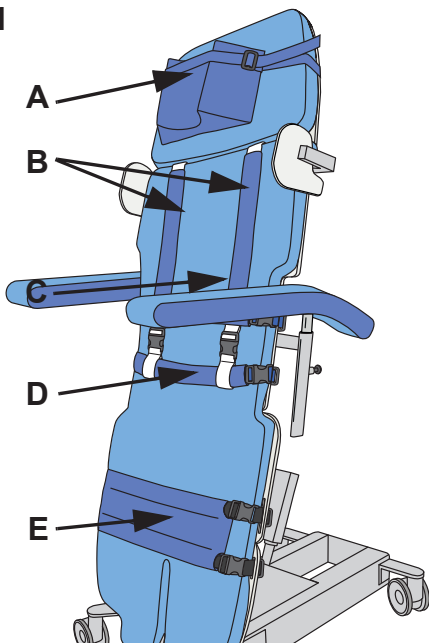
1. **立位モード**  
立位モードをアクティブにします。
2. **標準モード**  
標準モードをアクティブにします。
3. **上昇**  
標準モード：ストレッチャーまたはチェアを上に移  
動させます。  
立位モード：ストレッチャーをティルトテーブル姿  
勢まで上昇させます。
4. **下降**  
標準モード：ストレッチャーまたはチェアを下に移  
動させます。  
標準モード：ティルトテーブルをストレッチャー姿  
勢まで下降させます。
5. **チェア**  
標準モード：ストレッチャーからチェア姿勢に変更  
します。  
立位モード：利用できません。
6. **ストレッチャー**  
標準モード：チェアからストレッチャー姿勢に変更  
します。  
立位モード：利用できません。
7. **直立ティルト**  
標準モード：水平位置までチェアまたはストレッチ  
ャーを上方に傾斜させます。  
立位モード：利用できません。
8. **後方ティルト**  
標準モード：トレンデレンブルグ姿勢までチェアま  
たはストレッチャーを後方に傾斜させます。  
立位モード：利用できません。
9. **左ティルト**  
標準モード：ストレッチャーまたはチェアを左に傾  
斜させます。  
標準モード：ティルトテーブルを左に傾斜させます。
10. **右ティルト**  
標準モード：ストレッチャーまたはチェアを右に傾  
斜させます。  
標準モード：ティルトテーブルを右に傾斜させます。

注記

左右に傾斜させている間、ストレッチャーやチェアは、水平位置に達すると、3秒間停止します。ボタンを押し続けると、Sara Combilizerは停止してから反対側に傾斜し続けます。

# 安全ベルト

図 1



Sara Combilizer には以下の安全ベルトが付いています：  
(図 1 参照)

- A: 頭部安全ベルト
- B: ショルダー安全ベルト
- C: 胸部安全ベルト
- D: 臀部安全ベルト
- E: 膝安全ベルト

さらに、予備用胸部安全ベルト 1 本、予備用臀部安全ベルト 1 本及び予備用膝安全ベルト 1 本の付いています。

立位姿勢では胸部、臀部及び膝安全ベルトを常に使用してください。必要であれば、ショルダー及び頭部安全ベルトも使用してください。

全姿勢でベルトを使用するよう推奨します。

## アタッチメントストラップ

すべての安全ベルトは、白、黒、青にカラーコード化されています。

安全ベルト / アタッチメントストラップのカラーコード：

- ・ 青色：臀部 / 胸部 (A)
- ・ 白色：ショルダー (B)
- ・ 黒色：ひざ (C)

(図 2 参照)

すべての安全ベルト（頭部安全ベルトを除く）には、安全ベルトをサポートプレートに取り付けるためのスリッブロックが付いています。

胸部、臀部及び膝安全ベルトは、2 本のベルトアタッチメントストラップ (D) とパッド及びカバー付きベルト (E) で構成されます。(図 2 参照)

腰部安全ベルトは、パッド及びカバー付きベルト (E) とアタッチメントストラップ (D) で構成されます。(図 2 参照)

腰部安全ベルトアタッチメントストラップ (D) には、腰部安全ベルトを臀部安全ベルトに取り付けるためのループが付いています。(図 2 参照)

## 安全ベルトをサポートプレートに取り付ける (2 ステップ)

1. スリッブロックを外側のスロット (A) に通します。
2. スリッブロックの向きを変えて、アタッチメントストラップをサポート面に向かって引っ張り、固定します (B)。(図 3 参照)

図 2

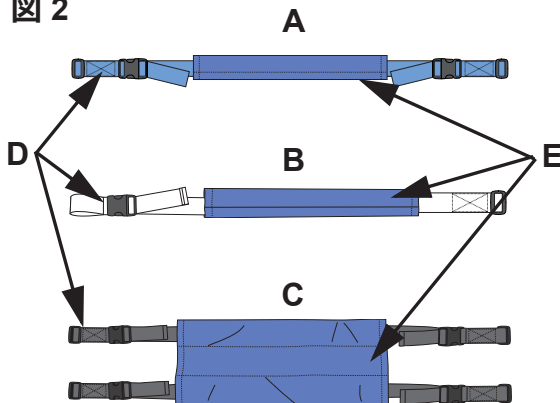
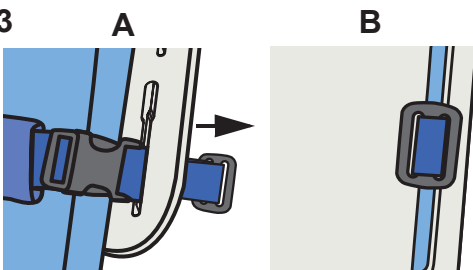
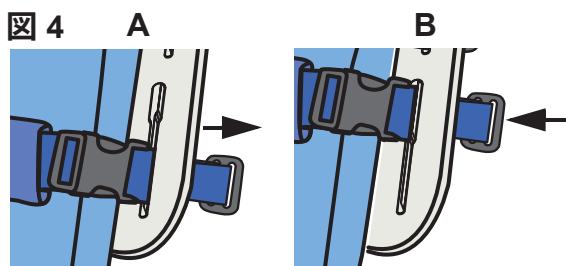


図 3



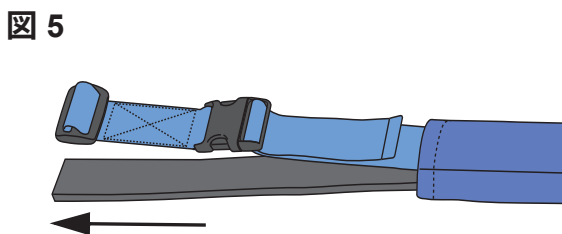


### 安全ベルトを取り外すには (2ステップ)

1. アタッチメントストラップをスロット (A) へさらに押し込んで、スリップロックを緩めます。(図4参照)
2. スリップロックの向きを変えて、ストラップをスロットから引き出します (B)。(図4参照)

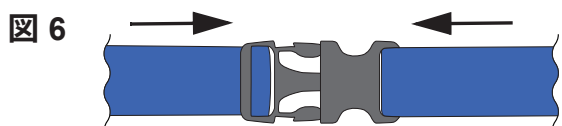
### カバーとパッドを安全ベルトから外すには (1ステップ)

1. パッドとベルトをカバーから取り出します。(図5参照)



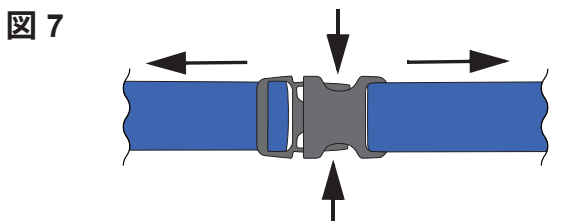
### カバーとパッドを安全ベルトに取り付けるには (3ステップ)

1. ベルトの帯紐をカバーに挿入します。
2. ベルトの帯紐の下にパッドを挿入します (患者の体に最も近いパッド)。
3. 安全ベルトアタッチメントストラップをベルトに取り付けます。



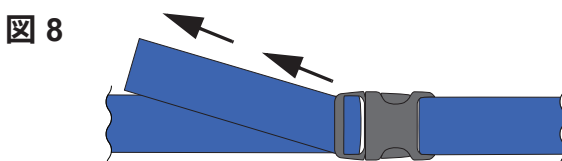
### 安全ベルトを取り付ける (2ステップ)

1. 2つのバックルを連結します。(図6を参照)
2. バックルがロックしていることを確認してください。



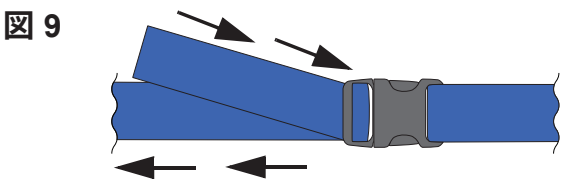
### 安全ベルトを取り外す (1ステップ)

1. バックルの側面を押しながら、バックルを外します。(図7参照)



### 安全ベルトを締め付ける (2ステップ)

1. エンドストラップをバックルから引き出します。(図8参照)
2. 余っているエンドストラップをベルトカバーの内側に挿入します。



### 安全ベルトを緩める (1ステップ)

1. バックルを持ち上げて、余っているエンドストラップをバックルに通します。(図9参照)

図 10



## 安全ベルトの使用

Sara Combilizer がティルトテーブル姿勢にあるときは、胸部、臀部及び膝安全ベルトを常に使用してください。必要であれば、ショルダー及び頭部安全ベルトも使用してください。すべての姿勢で安全ベルトを使用するよう推奨します。(図 10 参照)

### 注記

姿勢変更後は安全ベルトを常に点検し、患者が快適で安全ベルトが正しく取り付けられていることを確認してください。

## 胸部安全ベルト (4 ステップ)

1. 胸部安全ベルトが上部のベルトアタッチメントストラップのいずれかに接続されていることを確認してください。(図 11A 参照)

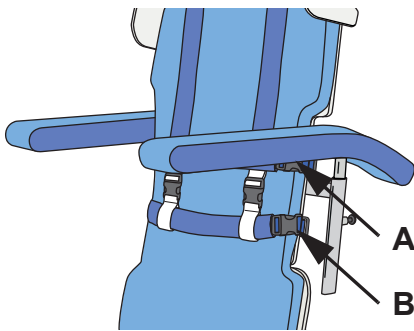
### 2. 警告

**窒息の危険を避けるため、胸部安全ベルトは両腕の下に配置してください。**

胸部安全ベルトは常に患者の両腕の下に配置して、ベルトが患者の喉までスライドすることのないようにしてください。女性の患者の場合: 胸部安全ベルトは女性のバストの上または下に配置してください。

3. 胸部安全ベルトを他の上部アタッチメントストラップにバックルで接続します。(図 11A 参照)
4. 患者にフィットするよう胸部安全ベルトを調節します。胸部への圧迫を避けるために、安全ベルトを締めすぎないでください。

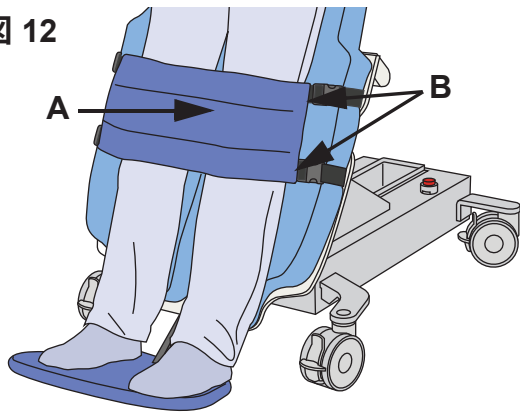
図 11



## 臀部安全ベルト (4 ステップ)

1. 安全ベルトが中間部のベルトアタッチメントストラップのいずれかに接続されていることを確認してください。(図 11B 参照)
2. 胸部安全ベルトを骨盤骨上の臀部に配置します。
3. 臀部安全ベルトを他の中間部アタッチメントストラップにバックルで接続します。(図 11B 参照)
4. 患者にフィットするよう臀部安全ベルトを調節します。胃や性器への圧迫を避けるために、安全ベルトを締めすぎないでください。

図 12



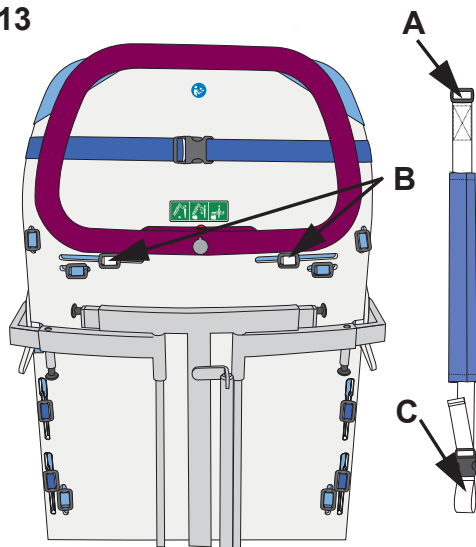
### 膝安全ベルト (4 ステップ)

1. 膝安全ベルト (A) 2 本の下部ベルトアタッチメントストラップ (B) に接続されていることを確認してください。(図 12 参照)
2. 膝安全ベルトを患者の膝に配置します。
3. 膝安全ベルトを 2 本の下部ベルトアタッチメントストラップにバックルで接続します。(図 12 参照)
4. 患者にフィットするよう膝安全ベルトを調節します。

#### 注記

姿勢を変更する際ストラップが引っ張られて締め付けられるため、ストレッチャー姿勢をチェア姿勢に変更するとき、膝安全ベルトに細心の注意を払ってください。

図 13



### ショルダー部安全ベルト (5 ステップ)

1. 頭部マットレスとボディマットレスの間にある背もたれプレート (B) の上部スロットに、ショルダー安全ベルト (A) のスリッロック 2 個を取り付けます。それらが背もたれプレートにしっかりと固定されていることを確認してください。(図 13 参照)
2. ショルダー安全ベルトを患者の肩と胸部ベルトの下に配置します (A)。(図 14 参照)
3. 臀部安全ベルト (B) (図 14 参照) のバックルを外して、ベルトをショルダー安全ベルトのエンドループ (C)に通します。(図 13 と図 14 参照)
4. 臀部安全ベルトのバックルを再び連結します。
5. 患者にフィットするよう臀部及びショルダー安全ベルトを調節します。

図 14



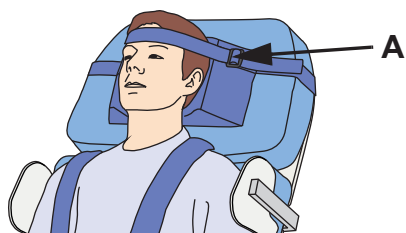
### 頭部安全ベルト (2 ステップ)

1. ピローの両側にあるスリッロック (A) から頭部安全ベルトを引き出します。(図 15 参照)

#### 2. 警告

患者が動くことによる窒息を避けるために、頭部安全ベルトを使用する際は患者から目を離さないようにしてください。

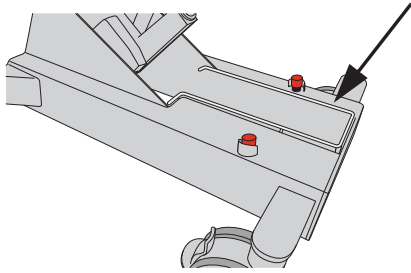
図 15



患者の頭部が固定されるよう頭部安全ベルトを調節します。

# 緊急停止機能と安全機能

図 1



## はさみ込み防止バー

Sara Combilizer は、はさみ込み防止バーを装備しています。(図 1 参照) はさみ込み防止バーを押し下げると、下降動作がすべて自動停止します。

## 緊急停止

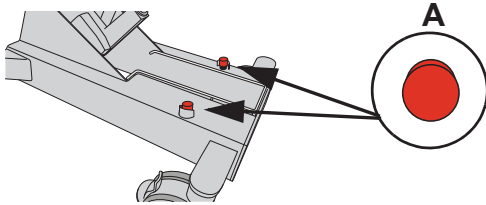
作動させるには：

非常停止ボタンを押して、電気部品への電力供給を停止します。(図 2A 参照) 操作ボックスはその機能を維持します。29 ページの「操作ボックス」のセクションを参照してください。

元に戻すには：

ボタンが元の状態に戻るまで、非常停止ボタンを時計方向に回します。

図 2



## 操作ボックス

### 警告

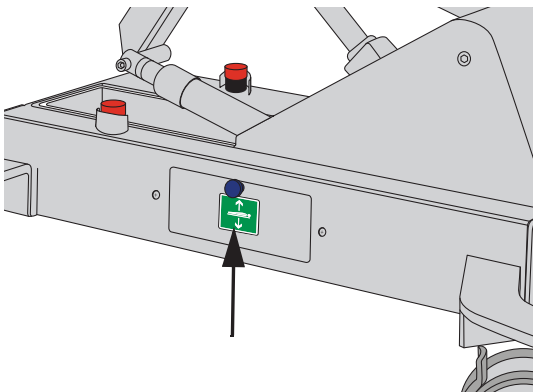
ケガを防ぐために、通常の下降が不可能な場合にのみ緊急降下を使用してください。降下中は最大限の注意を払ってください。

ハンドコントロールとコントロールパネルが機能しない場合、操作ボックスを用いて Sara Combilizer 姿勢を変更します。

### 注記

処置の際に立ち会うべき介助者数は、地域の日常手順ならびに患者アセスメントに依存します。

図 3



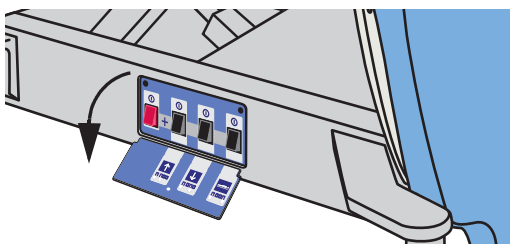
## 非常機能ボックスの使用法 (5 ステップ)

### 1. 警告

怪我を防ぐために、操作ボックスを使用中は非常停止及びはさみ込み防止バーは機能しないことに注意してください。

1. 非常機能ボックスは、右側の下部フレーム上にあります。(図 3 参照)
2. 操作ボックスカバーを開けます。(図 4 参照)

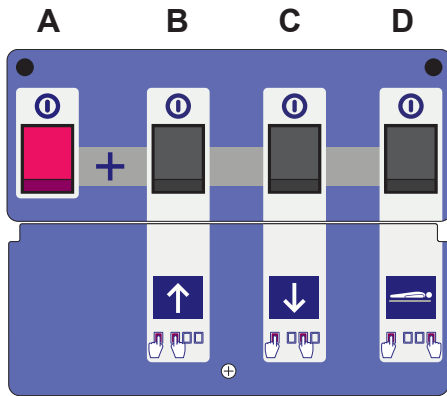
図 4



次のページへ



図 5



### 3. 警告

はさみ込みを防ぐために、緊急機能を使用する際は、両手と両足を可動部品から遠ざけるようにしてください。

電源スイッチ (A) と以下のボタンのいずれかを同時に押します：(図 5 参照)

- 上昇：ストレッチャー/チェアを上昇させます (B)。
  - 下降：ストレッチャー/チェアを下降させます (C)。
  - ストレッチャー：チェアからストレッチャー姿勢へ変更します (D)。
4. 患者を *Sara Combilizer* から移動させてください。
  5. 有資格担当者に連絡してください。

#### 注記

操作ボックスを使用した場合、有資格担当者に点検を依頼して、さらに使用することのないようにしてください。

## ティルトテーブル解除機能

### 警告

怪我を防ぐために、患者の状況によって必要とされる場合にのみティルトテーブル解除機能を使用してください。降下中は最大限の注意を払ってください。

#### 注記

処置の際に立ち会うべき介助者数は、地域の日常手順ならびに患者アセスメントに依存します。

ティルトテーブル解除機能は、患者がクリティカルな状態にあるとき患者を立位から水平位置へ素早く変更する際に使用します。

ティルトテーブル解除機能を作動すると、ティルトテーブルのロックは解除されます (ピープ音で示される)。

ティルトテーブルを手動で下降するためには大きな力が必要とされるため、2人以上の介助者が必要になります。

ティルトテーブル解除をアクティブにするためのボタン (A) は、運転ハンドル上にあります。(図 6 を参照)

ボタンの近くには、下降手順が記載されているラベル (B) が貼付されています。(図 6 を参照)

図 6

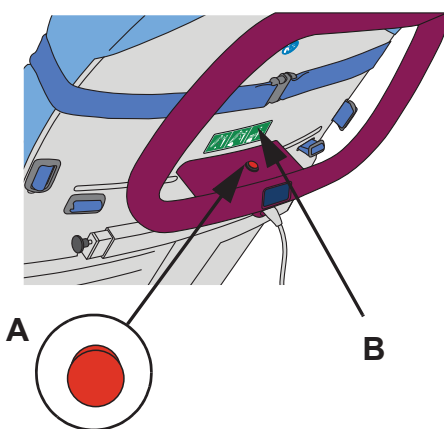


図 1



図 2

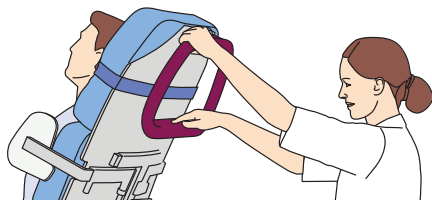


図 3

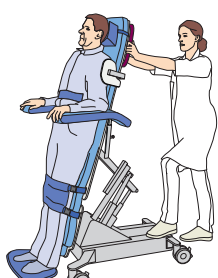


図 4

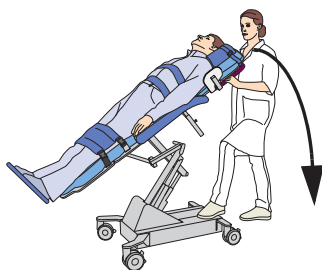


図 5

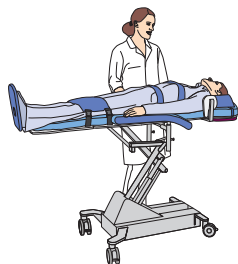
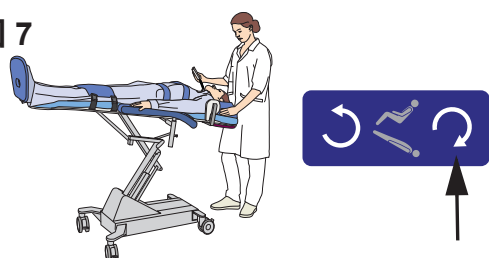


図 6



図 7



## ティルトテーブル解除機能の使用法（9 ステップ）

1. *Sara Combilizer* にブレーキがかかっていることを確認してください。
2. プロセス中、患者の頭部は頭部ピローまたはマットレスに付けさせていただきます。（図 1 参照）
3. 患者を降下させる前に、IV ポールとモニタリングライン、ドレイン、液体バッグ及び患者に付けているカテーテルに十分な緩みがあることを確認し、下降中突然外れたりするリスクを最小限に抑えてください。
4. 介助者の片手は搬送ハンドルに置いてください（引っ張らないこと）。
5. はさみ込み防止バーと非常停止機能がアクティブでないことを確認してください。
6. 移動用ハンドルを押します。押している間、片足をシャーシビームにのせるとより確かなサポートになります。
7. 特徴的な「カチッ」という音がするまで、移動ハンドルのボタンを押します。ビーという音が聞こえます。（図 2 を参照）。

### 注記

ボタンが押されている限り、ティルトテーブルは動き続けます。

8. ボタンを押し、両手を搬送ハンドルの上にしかりと配置します。（図 3 参照）

### 9. 警告

緊急降下中に患者の首と背中が怪我するのを防ぐために、介助者の両手はハンドルに置いて、ティルトテーブルと患者の重量を支えるようにしてください。重量をしっかり支えないと、ティルトテーブルが急激に下降して突然停止するという危険な状態になる恐れがあります。

水平位置に達するまでティルトテーブルをしっかりと持って下に引いてください。下降中、片足をシャーシビームにのせるとより確かなサポートになります。（図 4 参照）

10. 作業を完了させるには、ピープ音が止まるまでストレッチャーを下に押しってください。これで、*Sara Combilizer* は標準モードの水平位置にロックされます。（図 5 参照）

### 下降後の次のアクション

- 必要に応じて、ストレッチャーの高さを調節します。ストレッチャーの高さは、ティルトテーブル解除機能を使用する前のティルトテーブルの角度に依存します。（図 6 を参照）
- 患者の状況により患者をトレンデレンブルグ姿勢にする必要がある場合、後方ティルトボタンを使用します。患者をどの位長く水平/トレンデレンブルグ姿勢に維持するかは、臨床的アセスメントを実施してください。（図 7 参照）

# 操作

次のセクションでは、患者の移乗に関するさまざまなニーズに対する、*Sara Combilizer* の詳細な操作方法についてご紹介します。操作は以下で構成されます：

1. ベッドから *Sara Combilizer* への患者の移乗（下記を参照）
2. *Sara Combilizer* からベッドへの患者の移乗（36 ページを参照）
3. 座位から立位姿勢への患者の移乗（39 ページを参照）
4. 立位から座位姿勢への患者の移乗（41 ページを参照）
5. 姿勢の変更（43 ページを参照）
6. 搬送（46 ページを参照）

## ベッドから *Sara Combilizer* への患者の移乗

ベッドへあるいはベッドからの患者の移乗は、水平移乗方式あるいは天井走行リフトや床走行リフトを用いて実行できます。可能な製品組み合わせについては、62 ページの「技術仕様」のセクションをご参照ください。

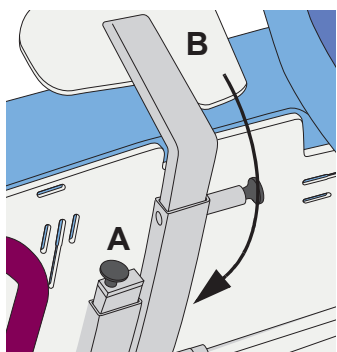
天井走行リフト、床走行リフトあるいはスライディングエイドについては、各々の取扱説明書をご参照ください。

患者を移乗させる前に、IV ポールとモニタリングライン、ドレイン、液体バッグ及び患者に付けているカテーテルに十分な緩みがあることを確認し、移乗中突然外れたりするリスクを最小限に抑えてください。

患者に移乗のことを伝えます。（これは意識のない患者にも適用されます）。

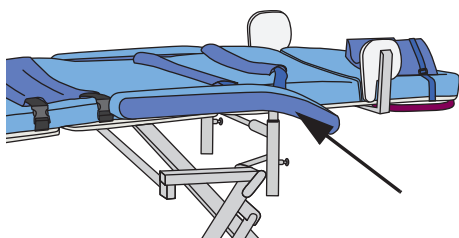
### 以下の 24 のステップに従う

図 1



1. スプリングロック (A) を引き出し、必要に応じて、*Sara Combilizer* のショルダーサポート (B) を下に折り曲げます。（図 1 参照）
2. *Sara Combilizer* のアームレスト (A) が水平位置にあり、マットレスと同一平面上で、最も内側にあることを確認してください。（図 2 参照）
3. *Sara Combilizer* ピローを外して、安全ベルトを折りたたみます。

図 2



4. ベッドのブレーキをかけます。
5. ベッドを人間工学に基づいた高さ及び水平位置になるよう調整します。

次のページへ

図 3

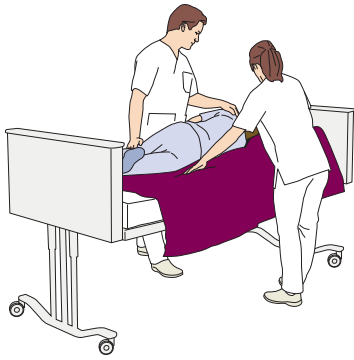


図 4

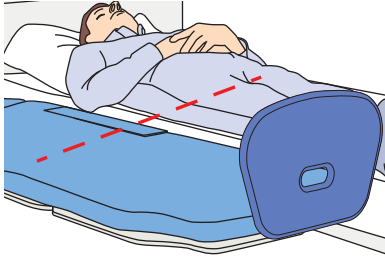


図 5

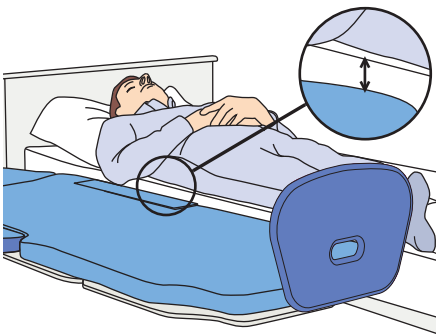
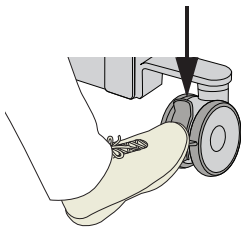


図 6



6. ベッドの両側に介助者を配置します。(図 3 参照)
7. ベッドレールがあるときは、移乗側のベッドレールを下げます。
8. スライディングシートを患者の下に敷きます。(ローカルの方式を使用)。(図 3 参照)
9. 患者の頭の下にピローを置きます。
10. *Sara Combilizer* をベッドの隣に配置します。
11. 患者の臀部を *Sara Combilizer* の背もたれプレートとシートプレートとの隙間に合わせてください。(図 4 参照)

12. **警告**

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときには固定されたものに気をつけてください。

ベッドより 2～5 cm (1～2 インチ) 低くなるように *Sara Combilizer* の高さを調節します。下降中に *Sara Combilizer* がベッドのレールにぶつからないように注意してください。(図 5 参照)

13. 移乗中に患者の足にぶつからないようにフットサポートを調節してください。必要に応じて、フットサポートを完全に取り外します。

14. **警告**

搬送中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

*Sara Combilizer* のブレーキをかけます。(図 6 を参照)

次のページへ

図 7



図 8

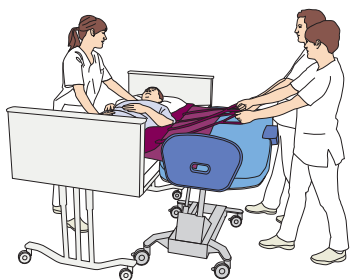


図 9

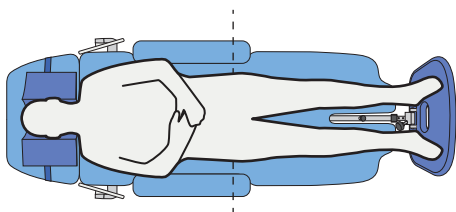
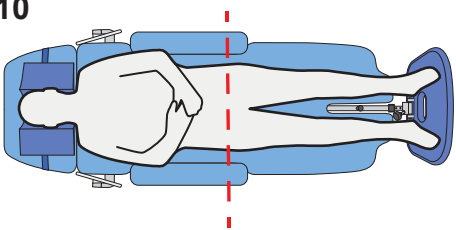


図 10



15. **警告**

移乗中に怪我をしないように、患者の頭と足に細心の注意を払い、近くに障害物がないことを確認してください。

**警告**

移乗中に落下するのを防ぐために、あるいは介助者が怪我するのを防ぐために、患者が移乗する間、2人以上の介助者が付き添うようにしてください。

スライディングシートを利用して患者を *Sara Combilizer* へ移乗させます。

スライディングエイドの取扱説明書をご参照ください。スライディングエイドを使用した移乗例:

- チューブ (図7参照)
- スライディングシート (図8参照)

**注記**

移乗時の介助者の人数と配置は、使用する移乗方式と患者の臨床アセスメントによって異なります。

16. **警告**

落下を防ぐために、患者が本取扱説明書に従った位置にあることを確認してください。

頭部がヘッドサポートに両足がレッグサポートに収まるよう患者を配置します。(図9参照)

17. 背もたれプレートとシートプレート間の隙間に来るよう、スライディングエイドで患者の臀部の位置を調節します。(図10参照)

次のページへ

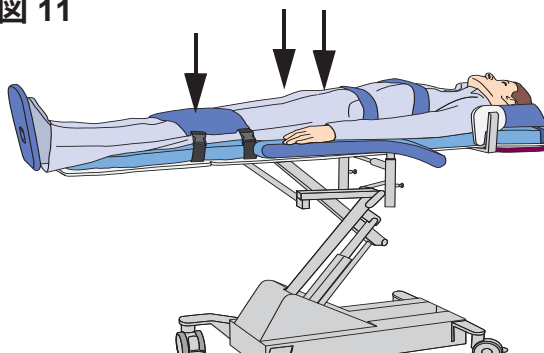
18. **警告**

患者が落下するのを防ぐために、搬送が完了したら、患者の下のスライディングエイドを必ず取り除いてください。

*Sara Combilizer* をベッドから移動させて、*Sara Combilizer* の両側に介助者を配置します。

19. スライディングエイドを取り除いてください（地域の方法を使用）。圧迫や不快感を取り除くために、マットレスや患者の衣服にしわや凹凸がないことを確認してください。

図 11



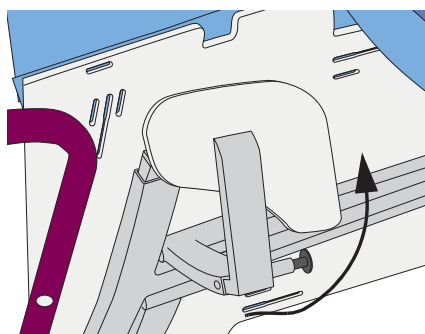
20. **警告**

落下を防止するために、患者が正しい姿勢と位置にあり、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

患者を胸部、臀部及び膝安全ベルトで固定します。（図 11 参照）

21. *Sara Combilizer* ピローを患者の頭部の下に配置して、搬送ハンドルの下ストラップをバックルで接続します。（図 11 参照）
22. ショルダーサポートを上折りたたみ（図 12 を参照）、患者にフィットするよう幅を調節します。

図 12



23. **警告**

フットプレートは重量があります。作業中に怪我をしないよう注意してください。

患者の身長にフィットするようフットサポートを調節して取り付けます。

24. これで、*Sara Combilizer* は姿勢変更及び / または移動する準備が整いました。43 ページの「姿勢の変更」及び 46 ページの「搬送」のセクションをご参照ください。



## Sara Combilizer からベッドへの患者の移乗

天井走行リフト、床走行リフトあるいはスライディングエイドについては、各々の取扱説明書をご参照ください。

患者を移乗させる前に、IV ポールとモニタリングライン、ドレイン、液体バッグ及び患者に付けているカテーテルに十分な緩みがあることを確認し、移乗中突然外れたりするリスクを最小限に抑えてください。

患者に移乗のことを伝えます。（これは意識のない患者にも適用されます）。

### 以下の 19 のステップに従う

図 1

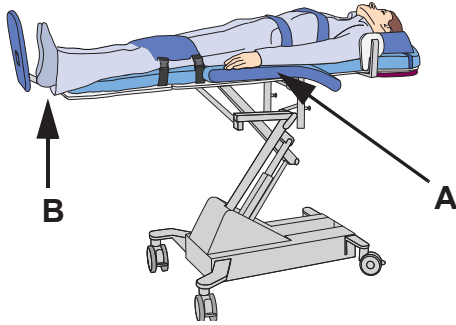


図 2

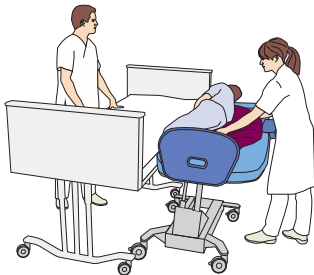
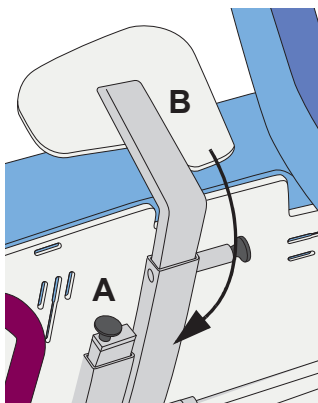


図 3



1.

#### 警告

移動中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

ベッドのブレーキをかけます。

2.

ベッドを人間工学に基づいた高さ及び完全な水平位置になるよう調整します。

3.

#### 警告

患者が製品から落下するのを防ぐために、すべてのサイドサポートをロック位置に設定してください。

該当する場合、移乗側のベッドレールを下げます。

4.

*Sara Combilizer* のアームレスト (A) が水平位置にあり、マットレスと同一平面上で、最も内側にあることを確認してください。（図 1 参照）

5.

フットサポート (B) を患者の足から離れるよう調節するか、フットサポートを完全に取り外します。（図 1 参照）

6.

ベッド側にある安全ベルトをすべて取り外して、離れた場所に置きます。

7.

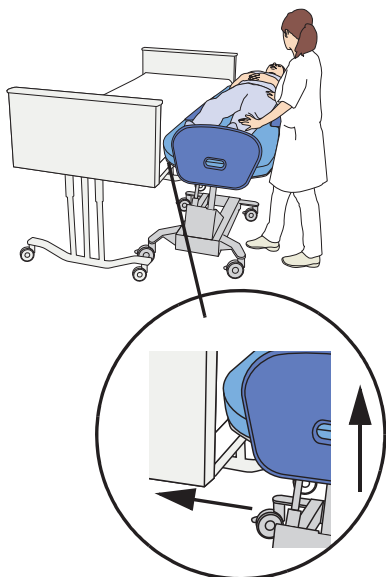
スライディングエイドを患者の下に敷きます（地域の方法を使用）。（図 2 参照）

8.

スプリングロック (A) を引き出し、*Sara Combilizer* のベッド側にあるショルダーサポート (B) を下に折り曲げます。（図 3 参照）

次のページへ

図 4



9. *Sara Combilizer* をベッドの近くに配置し、ベッドより 5 cm (2 インチ) 高くなるよう高さを調節します。(図 4 参照)
10. ベッドと重なるように *Sara Combilizer* を配置します。(図 4 参照)

11. **警告**

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときには固定されたものに気をつけてください。

ベッド上に接触しない程度まで *Sara Combilizer* を下降させて患者の移乗に備えます。

12. **警告**

移乗中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてにブレーキをかけるようにしてください。

*Sara Combilizer* のブレーキをかけます。(図 5 参照)

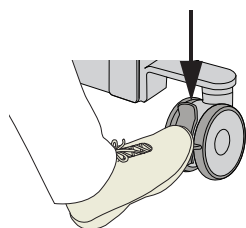
13. **警告**

移乗中に落下するのを防ぐために、あるいは介助者が怪我するのを防ぐために、患者が移乗する間、2 人以上の介助者が付き添うようにしてください。

介助者を 1 名 *Sara Combilizer* の脇に、もう 1 名を受け手となるベッドの反対側に配置します。

14. 必要であれば、*Sara Combilizer* ピローを取り外します。

図 5



次のページへ

図 6

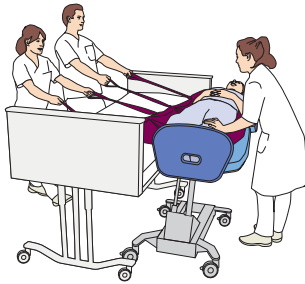


図 7

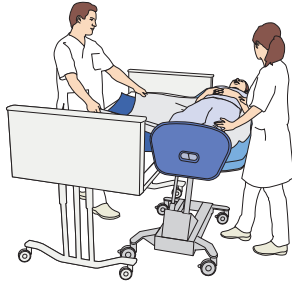


図 8

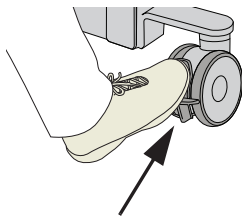
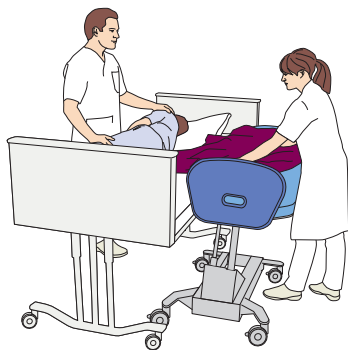


図 9



15. **警告**

移乗中に怪我をしないように、患者の頭と足に細心の注意を払い、近くに障害物がないことを確認してください。

**警告**

移動中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

スライディングシートを利用して患者をベッドに移乗させます。

スライディングシートの取扱説明書

スライディングシートを使用した移乗例:

- スライディングシート (図 6 参照)
- チューブ (図 7 参照)

注記

移乗時の介助者の人数と配置は、使用する移乗方法と補助器ならびに患者のアセスメントによって異なります。

16. ブレーキを解除して、Sara Combilizer をベッドから遠ざけるように移動してください。(図 8 参照)

17. **警告**

患者が落下するのを防ぐために、搬送が完了したら、患者の下のスライディングエイドを必ず取り除いてください。

患者の下からスライディングエイドを取り除きます (地域の方法を使用)。

18. マットレスや患者の衣服に、圧迫や不快感を引き起こす恐れのあるしわや凹凸がないことを確認してください。(図 9 参照)

19. **警告**

患者が製品から落下するのを防ぐために、すべてのサイドサポートをロック位置に設定してください。

該当する場合、ベッドレールを上げます。

## 座位から立位姿勢への患者の移乗

患者の臨床的評価が許す場合にのみ、患者を座位姿勢から立位姿勢に移乗させてください。

歩行 / 立位補助器の許容される組合せについては、62 ページの「技術仕様」のセクションをご参照ください。能動的な補助器の使用手順については、各補助器の取扱説明書をご覧ください。

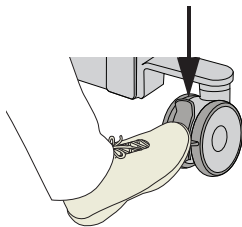
患者を移乗させる前に、IV ポールとモニタリングライン、ドレイン、液体バッグ及び患者に付けているカテーテルに十分な緩みがあることを確認し、移乗中突然外れたりするリスクを最小限に抑えてください。

患者に移乗のことを伝えます。

**注記**  
移乗時の介助者の人数と配置は、使用する移乗方式と患者の臨床アセスメントによって異なります。

以下の 13 のステップに従います。

図 1



1. 補助器を準備して、*Sara Combilizer* の近くに配置します。

2. **警告**

移乗中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてにブレーキをかけるようにしてください。

*Sara Combilizer* のブレーキをかけます。(図 1 参照)

3. *Sara Combilizer* がチェアポジション及び最低チェア姿勢にあることを確認してください。姿勢の詳細説明については、43 ページの「姿勢の変更」のセクションをご覧ください。
4. 移乗側のショルダーサポートを下へ折りたたみます。16 ページの「ショルダーサポート」のセクションを参照してください。
5. 移乗側のアームレストを取り外します。12 ページの「アームレスト」のセクションを参照してください。
6. 安全ベルトをすべて外します。
7. 患者を移乗側へ慎重に回転します。(図 2 参照)
8. 患者の両足がフロアに届くよう *Sara Combilizer* を移乗側へ慎重に傾けます。(図 3 参照)

図 2

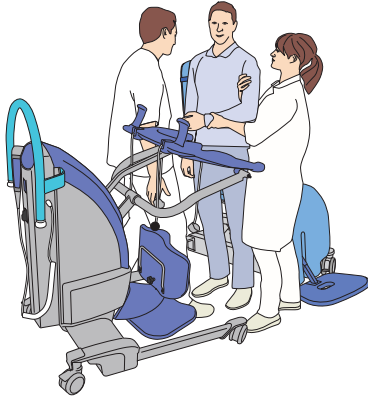


図 3



次のページへ

図 4



9. 患者が立位補助器なしで立ち上がることができる場合、立位姿勢に姿勢を変えている間、患者を支えてください。
10. 補助器（左図の場合、歩行補助器）を使用している場合、補助器を患者の前に配置します。（図 4 参照）

11. **警告**

移動中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

補助器のブレーキをかけます。

12. **警告**

移乗中に落下するのを防ぐために、あるいは介助者が怪我するのを防ぐために、患者が移乗する間、2人以上の介助者が付き添うようにしてください。

地域の日常手順や補助器の取扱説明書に従って、患者が立位姿勢に移行するのを援助して移乗を完了させます。

注記

患者が立位姿勢に移行するのを援助するために、Sara Combilizer をゆっくりと上昇させてから移乗側に傾斜させることができます。

13. 患者を支えながら、補助器に導きます。（図 4 参照）

注記

Sara Combilizer がチェアポジションにある場合にのみ、患者を歩行 / 上昇補助器に移乗させてください。

## 立位から座位姿勢への患者の移乗

歩行 / 立位補助器の説明については、各々の取扱説明書をご参照ください。

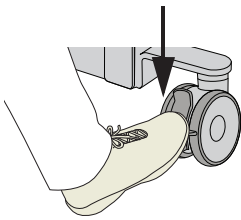
患者を移乗させる前に、IV ポールとモニタリングライン、ドレイン、液体バッグ及び患者に付けているカテーテルに十分な緩みがあることを確認し、移乗中突然外れたりするリスクを最小限に抑えてください。

患者に移乗のことを伝えます。

**注記**  
移乗時の介助者の人数と配置は、使用する移乗方式と患者の臨床アセスメントによって異なります。

### 以下の 17 のステップに従う

図 1



1.

#### 警告

移動中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

*Sara Combilizer* のブレーキをかけます。(図 1 参照)

2. *Sara Combilizer* がチェアポジション及び最低チェア姿勢にあることを確認してください。
3. 移乗側のショルダーサポートを下へ折りたたみます。
4. 移乗側のアームレストを取り外します。
5. 補助器で患者を *Sara Combilizer* の近くに移動します。

6.

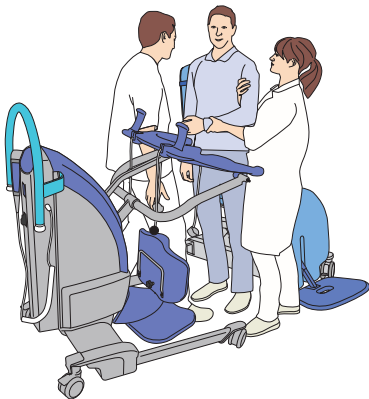
#### 警告

移動中に落下するのを防ぐために、使用中の装置すべてのブレーキをかけるようにしてください。

補助器を使用している場合、補助器のブレーキをかけます。

7. 補助器を使用している場合、地域の日常手順あるいは補助器の取扱説明書に従って、移乗を完了させます。(図 2 参照)
8. *Sara Combilizer* の高さを患者の座位高さに調節します。
9. *Sara Combilizer* を移乗側へ少し傾けます。

図 2



次のページへ



図 3



図 4



10. **警告**

移乗中に落下するのを防ぐために、あるいは介助者が怪我するのを防ぐために、患者が移乗する間、2人以上の介助者が付き添うようにしてください。

座位姿勢へ移行している間、患者を支えます。  
(図 3 参照)

11. 患者の両足がフロアに着くまで、*Sara Combilizer* をゆっくりと下降させます。
12. *Sara Combilizer* を水平チェア姿勢まで傾けます。患者を支えます。
13. 患者が前方を向いた座位姿勢へ回転できるよう患者を援助します。(図 4 参照)
14. 患者の両足を持ち上げて、フットサポートに置きます。

15. **警告**

落下を防止するために、患者が正しい姿勢と位置にあり、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

必要とされる安全ベルトを取り付け、調節します。

16. アームレストを取り付け、患者にフィットするよう幅と高さを調節します。12 ページの「アームレスト」のセクションを参照してください。
17. ショルダーサポートを上折りたたみ、患者にフィットするよう幅を調節します。16 ページの「ショルダーサポート」のセクションを参照してください。

## 姿勢の変更

Sara Combilizer は、使用中、以下のようにさまざまな姿勢にセットできます：ストレッチャー姿勢、ティルトテーブル姿勢、直立チェア姿勢、後方ティルトチェア姿勢、ティルト姿勢（左右）及びトレンデレンブルグ姿勢、詳細情報については、11 ページの「Sara Combilizer の姿勢」のセクションと 44-45 ページの表をご参照ください。

姿勢変更を行う前に、22 ページの「コントロール機能」のセクションを必ずお読みください。

### 警告

患者の身体が落下したり手足が挟まったりするのを防止するために、両手、両脚を装置の上にしっかりと保持してください。

### 警告

立位姿勢へ変更する際、介助者の足が挟まったり、ぶつかったりするのを防止するために、両足はフットプレートに近づけないでください。

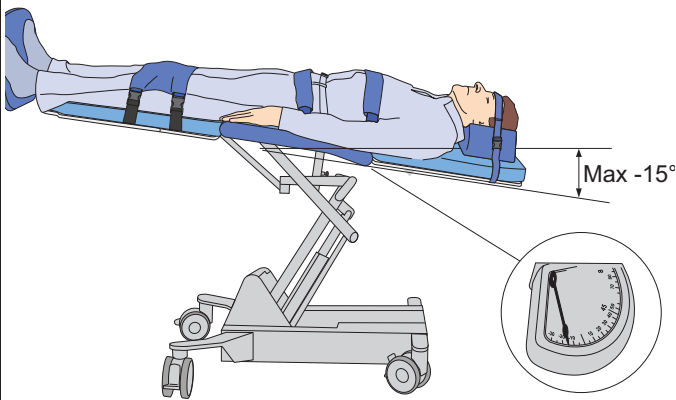
### 警告

患者の挟み込みを防止するため、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

### 警告

負傷のリスクを避けるために、患者の頭を下に向けた状態で、Sara Combilizer を  $-15^{\circ}$  以上傾けないでください。

傾きの度合いは、Sara Combilizer のヘッドセクションの下に置かれたティルト角インジケータで確認できます。



### 注記

処置の際に立ち会うべき介助者数は、地域の日常手順ならびに患者アセスメントに依存します。

### 注記

ティルトテーブルからストレッチャー姿勢に変更する前に、アームレストは折りたたむ必要があります。

### 注記

左/右に傾斜させている間、Sara Combilizer は、水平位置に達すると、3 秒間停止します。ボタンを押し続けて、動作を続けます。

## 姿勢変更の準備

姿勢変更を行う前に、介助者は以下を行う必要があります：

- 患者に予定されている活動について伝えます。（これは意識のない患者にも適用されます）。
- Sara Combilizer を患者のニーズに適合するよう調節します。10 ページの「製品説明/機能」のセクションを参照してください。
- ストレッチャー姿勢をチェア姿勢に変更する際、取り付けられている膝安全ベルトが適度に緩んでいることを確認してください。
- Sara Combilizer の周りに十分なスペースがあることを確認してから姿勢変更を行ってください。
- ブレーキがかかっていることを確認してください。

## 処置の間

- 該当する臨床プロトコルに従って、患者を再配置してください。
- 患者を移乗させる前に、IV ポールとモニタリングライン、ドレイン、液体バッグ及び患者に付けているカテーテルに十分な緩みがあることを確認し、移乗中突然外れたりするリスクを最小限に抑えてください。

## 姿勢変更の後患者をチェックする

姿勢変更が終了したら、介助者は以下を必ず実施する必要があります：

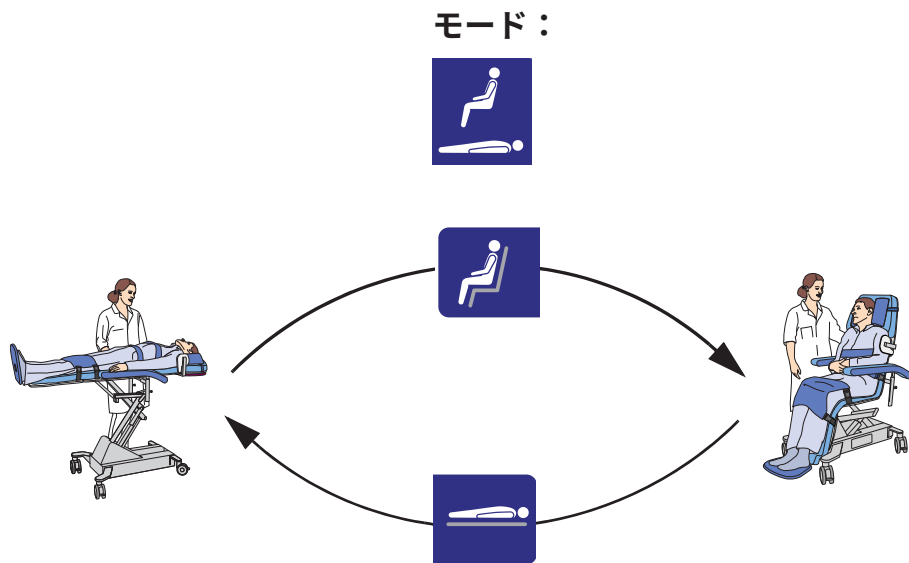
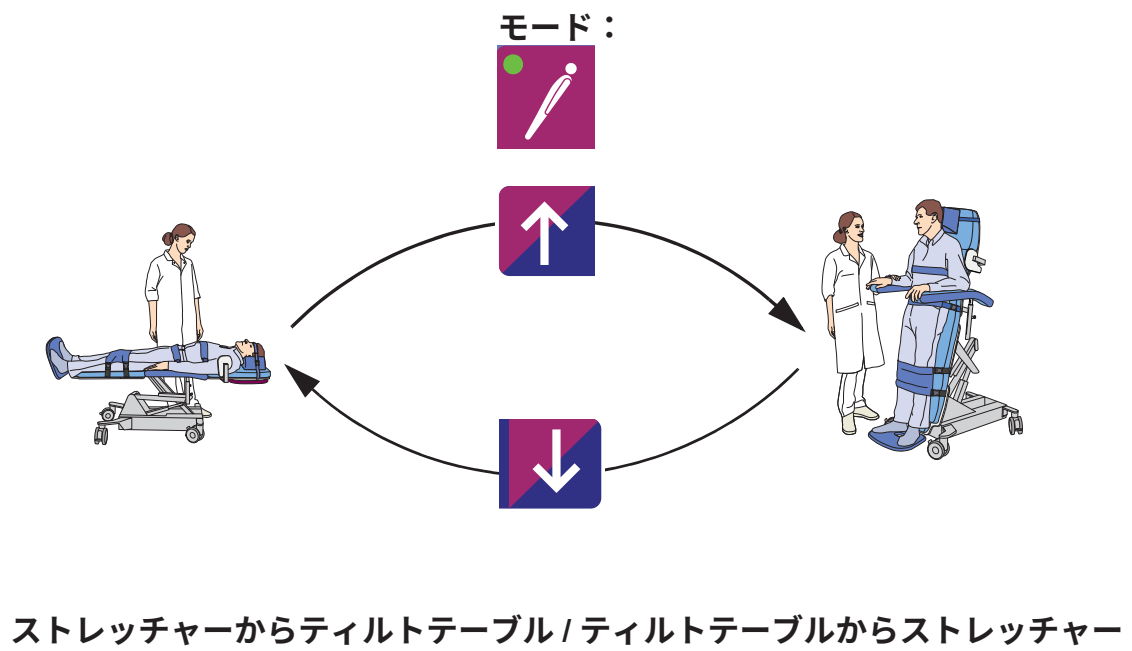
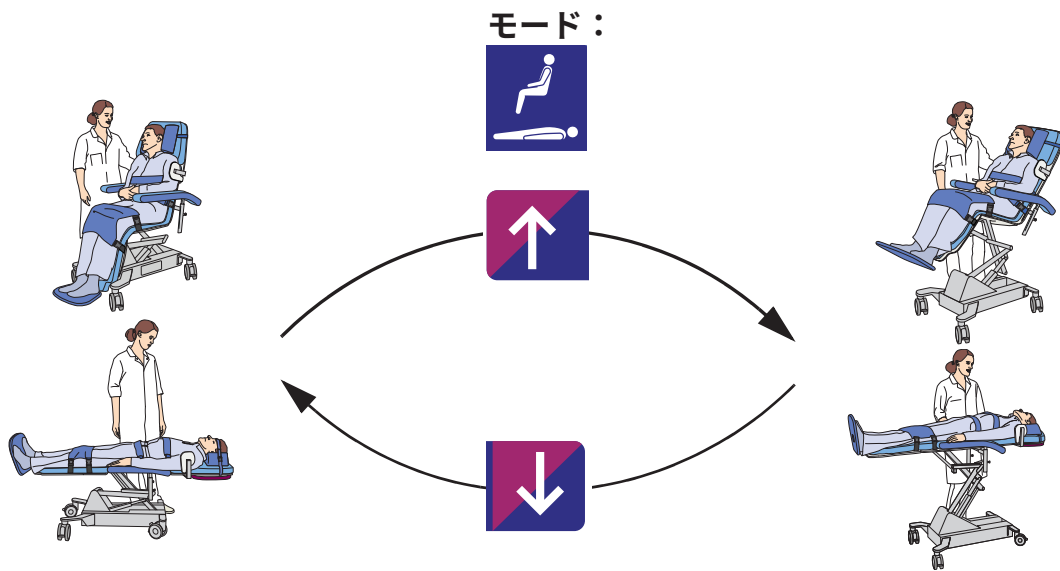
- 安全ベルトが適度に締め付けられていることをチェックしてください。
- 患者のフィットするよう Sara Combilizer を調節してください。  
10 ページの「製品説明/機能」のセクションを参照してください。

## モードの変更

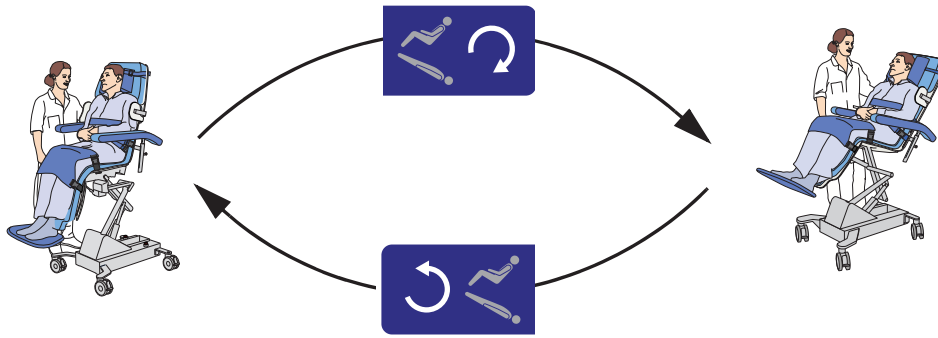
モードを変更するために、2 つの手順が使用できます：

- コントロールパネル上の「モードの変更」を使用する。
- ハンドコントロールのボタンを押してから、コントロールパネルのモード変更ボタンを押す。

セクション 23 ページの「モードの変更」を参照してください。

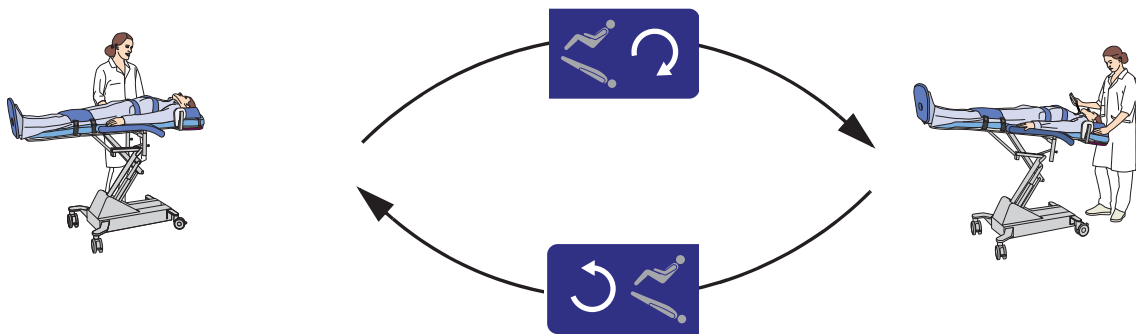


モード：



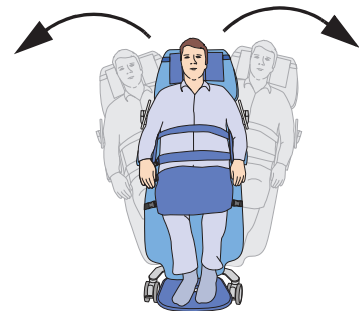
後方ティルトチェア / 直立ティルトチェア

モード：



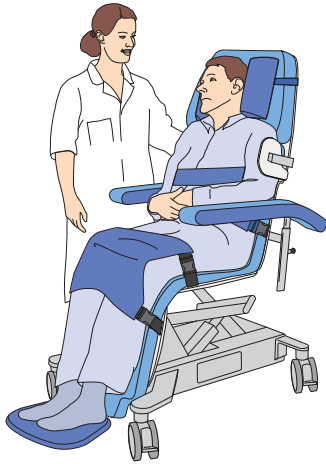
ストレッチャーからトレンドレブルグ / トレンドレブルグからストレッチャー

モード：



左ティルトまたは右ティルト

図 1



### 患者を乗せて（4 ステップ）

1. 必要とされる安全ベルトを確実に取り付けてください。25 ページの「安全ベルト」のセクションを参照してください。

#### 2. 警告

患者の身体が落下したり手足が挟まったりするのを防止するために、両手、両脚を装置の上にしかりと保持してください。

患者の両脚と両手をチェア内に配置します。  
(図 1 参照)

3. 患者の身長にフィットするようフットサポートを調節してください。14 ページの「フットサポート」のセクションを参照してください。

#### 4. 警告

身体や物が挟まったり、衝突したりするのを防ぐために、移乗する経路に障害物がないことを確認してください。

#### 警告

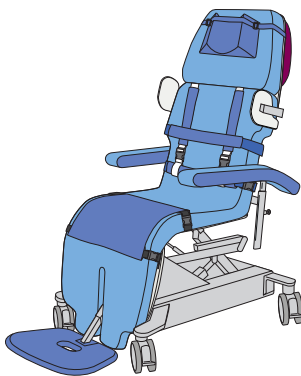
搬送中は視界が制限されるため、患者の体の怪我やはさみ込みの事故が発生しないよう十分注意してください。

搬送経路に障害物がないことを確認し、介助者の足はキャスターに近づけないでください。

#### 注記

患者を搬送させる際は、直立チェア姿勢を使用することを推奨します。チェアがその最低位置にあることを確認してください。Sara Combilizer は短い距離の搬送にのみ使用するよう推奨します。

図 2



### 患者を乗せないで（3 ステップ）

1. 患者を乗せないで Sara Combilizer を移動する際は、Sara Combilizer を直立チェア姿勢にしてください。(図 2 参照)
2. チェアをできる限り低くします。
3. 搬送経路に障害物がないことを確認し、介助者の足はキャスターに近づけないでください。

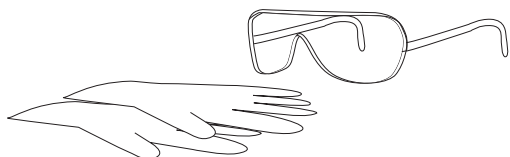
# 洗浄と消毒の手順

以下のプロセスを推奨しますが、洗浄プロセスは医療施設また使用国の範囲で適用する、地域または国のガイドライン（感染管理に関するガイドライン）に準拠してください。ご不明な点がある場合は、地域のインフェクションコントロールスペシャリストに助言を求めてください。

Sara Combilizer は患者間であるいは使用時定期的にクリーニング及び消毒するようにしてください。これは再利用可能なあらゆる医療機器で実施されている方法と同様のものです。

製品のクリーニングや消毒に関するご質問や、または消毒薬を発注される場合、Arjo 代理店にお問い合わせください。部品とアクセサリのセクションをご覧ください。使用する消毒液の安全データシート (SDS) を必ず用意してください。

## 警告



目と皮膚の怪我を防ぐために、保護用めがねと手袋を必ず装着してください。万一目に入った場合、大量の水で洗い流してください。目や皮膚が炎症を起こしている場合、医師にご相談ください。洗浄液の取扱説明書と製品安全データシートを必ずお読みください。

## 警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

## 警告

交差感染を防止するため、細菌や菌類胞子に対するアルコールの消毒効果は限定的であることに注意してください。

## 警告

目や皮膚の炎症を防ぐために、患者様がいる所で決して消毒しないでください。

## 注意

製品の損傷を防ぐために、Arjo ブランドの消毒薬、イソプロピルアルコール、または次亜塩素酸ナトリウムのみを使用してください。

## 注意

以下を用いて洗浄しないでください：

- トンネル型洗浄処理装置
- 高圧洗浄機

## 注意

クリーニング / 消毒液を洗い落とすのを怠ると、薬品が堆積してポリウレタンコートが破壊される恐れがあります。

## 検証済み洗浄剤 / 消毒剤

- Arjo Clean
- Arjo General Purpose Disinfectant
- Arjo Disinfectant Cleanser IV
- Arjo All Purpose Disinfectant
- Arjo CenKleen IV
- アルコール（イソプロピルアルコール 70%）
- 次亜塩素酸ナトリウム 0,1-0,5%
- 中性洗剤



## クリーニング / 消毒用付属品

- 保護用めがね
- 保護用手袋
- 水入りスプレーボトル
- 保護プラグ（ハンドコントロール接続用）
- 使い捨てタオル

## 患者間クリーニング / 消毒用追加付属品

- 中性洗剤入りスプレーボトル
- 認定を受けた消毒剤入りスプレーボトル

## 定期的なクリーニング / 消毒用追加付属品

- Arjo 推奨消毒薬入りスプレーボトル
- ブラシ
- 洗浄機器
- 回転乾燥機
- 洗浄剤

これらの付属品は、汚染除去後あるいは免疫不全患者に使用する前のクリーニングにも必要です。

## クリーニングと消毒に関する一般的注意事項

- 取扱説明書あるいは消毒液ボトル上のラベルの記載内容に従って、洗浄液と消毒液を混合してください。
- 洗浄液 / 消毒液を製品のあらゆる部分に浸透させてください。
- *Sara Combilizer* を拭く場合は、常に上から下に作業してください。（**図 1** 参照）

### 患者間:

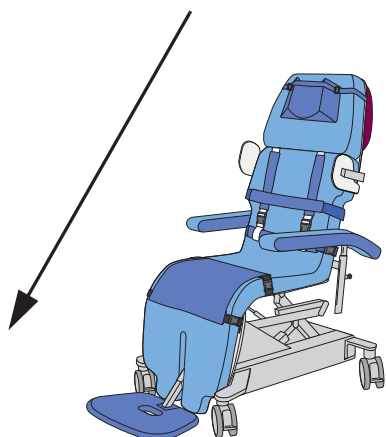
アタッチメントストラップとフットサポートを含む、ハンドコントロール、運転ハンドル、ヘッドマットレス、ショルダーサポート、アームレスト、ボディマットレス、ベルト。

### 定期的なクリーニング:

ハンドコントロール、運転ハンドル、背もたれプレートの前部、ショルダーサポート、アームレスト、シートの前部とフットサポートプレート、背もたれプレート、リフト機構、シャーシ、フットサポート、及びキャスター。

- 取り外した部品を個々に掃除し、常にきれいな面に置いてください。
- 交差感染を防止するため、各アイテムを掃除した後、使い捨てタオルを交換してください。

図 1



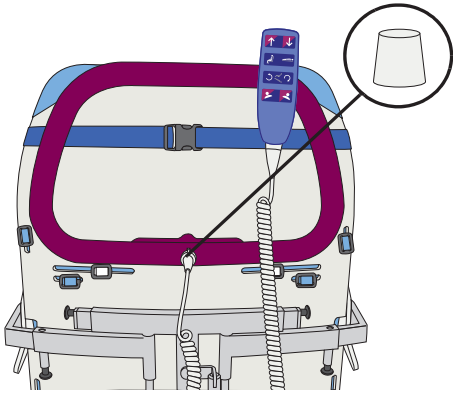
## 患者間のクリーニング / 消毒

以下の 21 のステップに従う

### 注記

汚染除去後あるいは免疫不全患者に使用する前にクリーニングを実際する際は、定期的なクリーニング / 消毒のセクションの指示に従ってください。

図 1



### 準備 (ステップ 1-4)

1. *Sara Combilizer* をチェア姿勢にします (標準モード)。
2. チェアの高さを人間工学に基づいた作業高さに調節します。
3. 保護プラグあるいはハンドコントロールコンタクトプラグが運転ハンドル上の接続ポイントに正しく挿入されていることを確認してください。(図 1 参照)
4. ピローとすべての安全ベルトを取り外します。

### 目視できる汚れの除去 (ステップ 5)

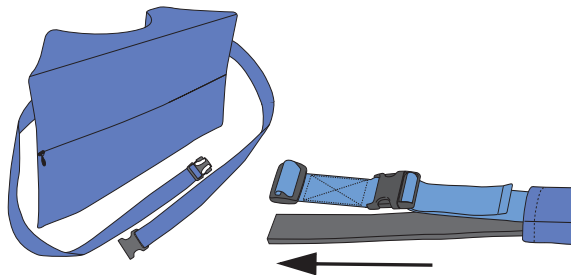
5. 使い捨てタオルを水に濡らし、目に見えるしみや汚れを除去します。

### *Sara Combilizer* の前部、ピロー及び安全ベルト クリーニング (ステップ 6-11)

6. 患者が触った *Sara Combilizer* の部分すべてに洗剤をスプレーします。
7. 機器の前部から開始して、ピローと安全ベルトを個々に洗剤をスプレーします。
8. 水に濡らした新しい使い捨てタオルで、残っている消毒液を完全に拭き取ります。
9. 洗剤を除去できない部分がある場合、水をスプレーして、使い捨てタオルで拭いてください。
10. 洗剤がすべて除去されるまで、繰り返し行います。
11. すべての部品を乾燥させます。

次のページへ

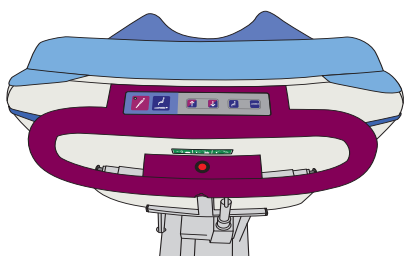
図 2



### 消毒（ステップ 12-14）

12. 患者と接触した *Sara Combilizer* の部分すべてに、70 パーセントイソプロピルアルコールをスプレーします。（図 2 参照）
13. ボトルのラベルに記載されている推奨消毒時間に従って、あるいは最低 2 分間、認定を受けた消毒剤を各部分に付着させたままにします。
14. 使い捨てタオルを使用して、残っているイソプロピルアルコールをすべてふき取ります。

図 3

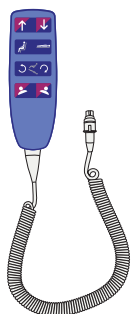


### コントロールパネルとハンドコントロールを含む搬送ハンドル

#### クリーニング（ステップ 15-16）

15. 搬送ハンドル、コントロールパネル及びハンドコントロールに洗浄剤をスプレーします。（図 3 と 4 を参照）
16. クリーニングステップ 8-11 を繰り返します。

図 4



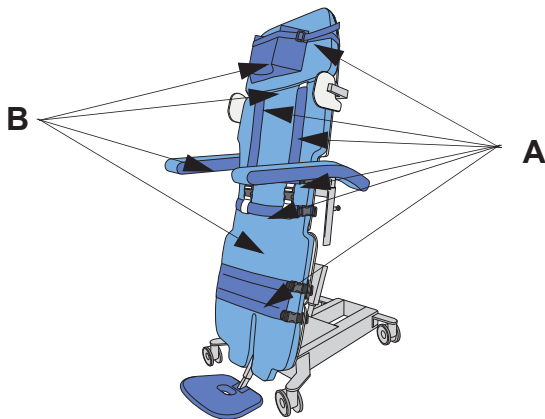
### 消毒（ステップ 17-18）

17. 搬送ハンドル、コントロールパネル及びハンドコントロールに、イソプロピルアルコールをスプレーします。
18. 消毒ステップ 13-14 を繰り返します。

### 取り付け（ステップ 19-21）

19. 消毒した *Sara Combilizer* にピローとすべての安全ベルトを取り付けます。製品説明 / 機能と安全ベルトのセクションをご参照ください。
20. 保護プラグを接続ポイントから外し、ハンドコントロールを接続します（該当する場合）。
21. 次のクリーニング / 消毒に備えて、保護プラグを安全な場所に保管します。

図 1



## 毎月のクリーニング / 消毒

この作業は、最低でも月に 1 回、あるいは *Sara Combilizer* が汚染された時、あるいは免疫不全患者に使用する前に、実施する必要があります。

### 以下の 37 のステップに従う

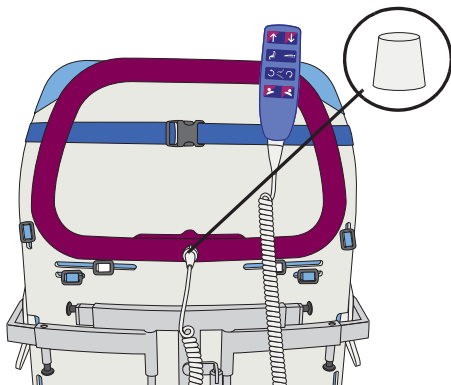
#### 準備 (ステップ 1-5)

1. *Sara Combilizer* をテイルトテーブル姿勢にします (立位モード)。
2. テーブルを 45-70° まで持ち上げることで、高さを人間工学に基づいた作業高さに調節します。
3. ベルトアタッチメントストラップを含む安全ベルトを取り外します。(図 1A 参照)
4. ピロー、ヘッドマットレス、ボディマットレス及びアームレスト (カバーとフォーム) を取り外します。(図 1B 参照)
5. 保護プラグあるいはハンドコントロールコンタクトプラグが運転ハンドル上の接続ポイントに正しく挿入されていることを確認してください。(図 2 参照)

#### 目視できる汚れの除去 (ステップ 6-10)

6. 使い捨てタオルを水に濡らし、*Sara Combilizer* や取り外した部品上の目に見えるしみや汚れを除去します。
7. 汚れがひどい場合、ブラシとタオルで目に見える汚れをすべて除去してください。
8. 取り外した部品はぬるま湯をかけて洗浄できます。
9. 繊維品の洗浄と乾燥のセクションに従って、カバーを洗浄します。
10. 繊維品の洗浄と乾燥のセクションに従って、安全ベルトとベルトアタッチメントストラップを洗浄します。

図 2

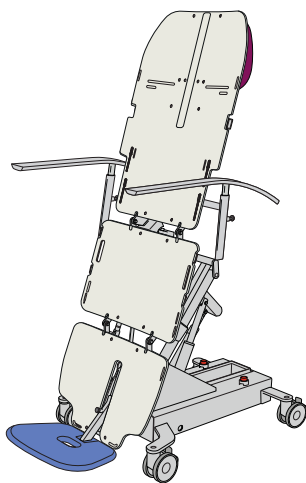


## *Sara Combilizer* の前部、ハンドコントロール及びベルトパッド

#### クリーニング (ステップ 11-15)

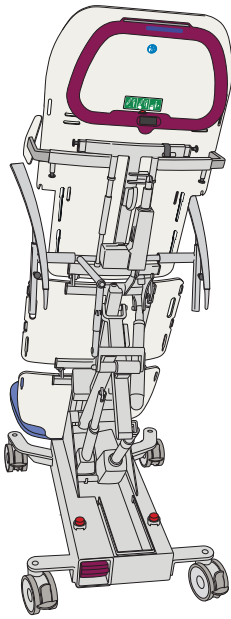
11. Arjo 検証済み洗浄剤を *Sara Combilizer* 前部の部品、ハンドコントロール及びベルトパッドにスプレーします。
12. 水に濡らした使い捨てタオルで、残っている Arjo 検証済み洗浄剤を完全に拭き取ります。(図 3 参照)
13. Arjo 検証済み洗浄剤を除去できない部分があるときは、水をスプレーして、使い捨てのタオルで拭きます。
14. 洗浄剤がすべて除去されるまで、繰り返し行います。
15. すべての部品を乾燥させます。

図 3



次のページへ

図 4



### 消毒（ステップ 16-21）

16. Arjo 検証済み洗浄剤をハンドコントロールの全ての部分に繰り返しスプレーします。
17. ボトルのラベルに記載されている推奨消毒時間に従って、消毒液を各部分に付着させたままにします。
18. 水に濡らした新しい布で、残っている消毒液を完全に拭き取ります。
19. 消毒液を除去できない部分があるときは、水をスプレーして、使い捨てのタオルで拭きます。
20. 洗浄剤がすべて除去されるまで、繰り返し行います。
21. すべての部品を乾燥させます。

### Sara Combilizer の後部

#### クリーニング（ステップ 22-23）

22. Arjo 検証済み洗浄剤を Sara Combilizer 後部の部品すべてにスプレーします。（図 4 と 5 を参照）
23. クリーニングステップ 10 - 13 を繰り返します。新しい使い捨てタオルを使用するようにしてください。

#### 消毒（ステップ 24-25）

24. Arjo 検証済み洗浄剤を Sara Combilizer の部品すべてにスプレーします。
25. 消毒ステップ 15 - 19 を繰り返します。新しい使い捨てタオルを使用するようにしてください。

#### 繊維品の洗浄と乾燥（ステップ 26-29）

26. 安全ベルト、アームレスト、ピロー、ヘッド及びボディマットレスからカバーを外します。（図 6 を参照）
27. 繊維品を洗浄している間、パッドとフォームは清潔で乾燥した場所に保管します。
28. 繊維品は以下のように洗浄します：
  - カバー：ジッパーを開けて、70°C (158°F) で標準洗浄を行います。
  - ベルトアタッチメントストラップ付き安全ベルト：60°C (140°F) で標準洗浄を行います。
29. 繊維品は以下のように回転乾燥します：
  - カバー：ジッパーを開けて裏返しにして最大 70°C (158°F) で回転乾燥します。
  - ベルトアタッチメントストラップ付き安全ベルト：バックル付きは最大 60°C (140°F) で回転乾燥します。

図 5

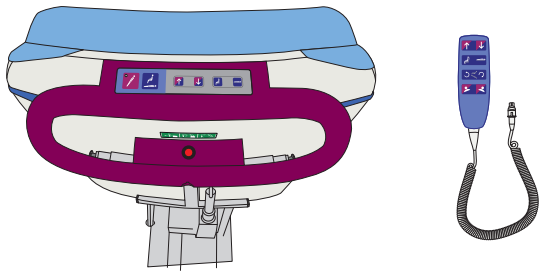
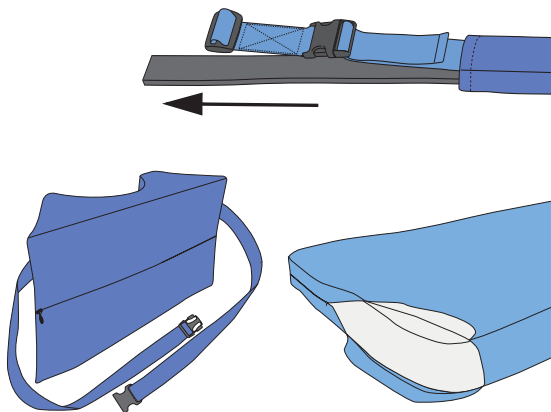


図 6



次のページへ

図 7

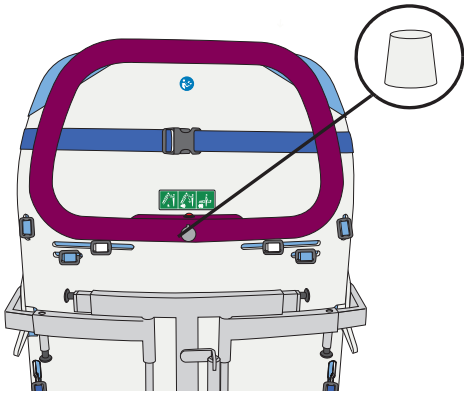
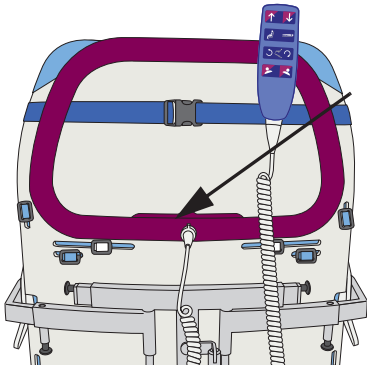


図 8



## 取り付け（ステップ 30-39）

30. すべてのパッド、フォーム、カバー、安全ベルト及びベルトアタッチメントストラップを目視点検します。
31. 安全ベルトを安全ベルトカバーに挿入します。
32. ベルトウェビングの下にパッドを挿入します（患者の体に最も近いパッド）。
33. フォームをマットレス、ピロー、アームレスト及び安全ベルトカバーに挿入します。
34. マットレス、ピロー、アームレスト、ベルトアタッチメントストラップ及び安全ベルトを消毒した *Sara Combilizer* に取り付けます。
35. 保護プラグを接続ポイントから外します（該当する場合）。（図 7 参照）
36. 次のクリーニング / 消毒に備えて、保護プラグを安全な場所に保管します。
37. ハンドコントロールを接続します。（図 8 参照）
38. *Sara Combilizer* をティルトテーブル姿勢からストレッチャー姿勢に下降させます。
39. 標準モードに変更して、*Sara Combilizer* をチェア姿勢にします。

### 注記

注記漂白剤を含んでいない中性洗剤を使用します。

### 注記

注記安全ベルトやマットレスカバーを脱水用プレス機にかけないでください。

### 注記

注記シミ抜き洗剤を使用しないでください。

### 注記

注記ベルトは 60°C (140°F) 以上で、マットレス / ベルトカバーは 70°C (158°F) 以上で回転乾燥をしないでください。

### 注記

注記カバーがひどく汚れている場合、最大 80°C (176°F) で洗浄することが可能です。



# バッテリー使用上の注意

## 警告

怪我を防止するため、バッテリーへの衝撃、絶縁破壊、開封、分解、機械的な妨害を行わないでください。

- バッテリーケースが割れてバッテリー液が皮膚や衣類についた場合、直ちに水で洗い流してください。
- バッテリー液が目に入った場合、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

バッテリーの内容物を吸引すると、呼吸器系に刺激を引き起こす可能性があります。新鮮な空気にて深呼吸し、医師の診断を受けてください。

- バッテリーを落下させないように注意してください。
- バッテリーを破棄する際、地域の地方自治体の指示に従ってください。
- バッテリーのラベルをチェックしてください。

## バッテリーの保管

- バッテリーは充電された状態で納品されますが、少量の自己放電があるため、受け取ったらバッテリーを充電するようお勧めします。
- バッテリーは使用していないと徐々に放電します。
- 使用していないバッテリーは、 $-0^{\circ}\text{C}$  ( $32^{\circ}\text{F}$ ) から  $+30^{\circ}\text{C}$  ( $86^{\circ}\text{F}$ ) の温度範囲で保管して下さい。
- 最大のバッテリー性能を得るには、 $50^{\circ}\text{C}$  ( $122^{\circ}\text{F}$ ) を超える環境でバッテリーを保管しないでください。

## 充電間隔

- バッテリーの寿命を長持ちさせるために、定期的（毎晩など）に充電してください。
- 2個のバッテリーを使用し、1個は稼働用、もう1個は充電用としてご利用することをお勧めします。
- 使用していないバッテリーは充電器に入れたままでもかまいません。バッテリーが過充電となることはありません。

## バッテリーのサービス寿命

充電したてのバッテリーを使った際、あまり使用していないにもかかわらず、バッテリー表示器が点滅し始め、ブザー音が鳴り始めたときは、新しいバッテリーを購入してください。

## 低電圧警告

バッテリーの残量が少なくなるとブザー音が鳴ります。この場合、できる限り早く再充電するようにしてください。

## 充電器の設置

NEA 8000 バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

## バッテリーの充電方法

NEA 8000 バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

# 点検・保守及びメンテナンス

Sara Combilizer は消耗するものであり、製品がメーカー仕様を維持するようにと明記してある場合、以下の措置を講じる必要があります。

## 警告

傷害事故をもたらす故障を防止するため、定期的な検査を実施し、推奨メンテナンススケジュールに従ってください。製品が酷使されている場合、あるいは苛酷な環境にさらされている場合、さらに頻繁な点検を実施してください。地域の規制や地方自治体の基準が、推奨保守計画よりも厳格な場合があります。

## 警告

患者様や介助者の怪我を防止するため、製品を改造したり、互換性のない部品を使用しないでください。

## 注記

患者が製品を使用中であるときは、製品の保守や修理をすることができません。

## 予防保全計画：Sara Combilizer

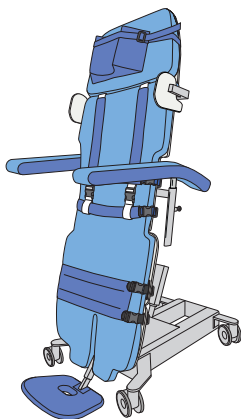
介助者の義務 処置 / 点検	毎回の 使用前	患者間	毎週	四半期に 1回	1年に 1回	5年に 1回
クリーニング / 消毒		X		X		
安全ベルトの目視点検	X					
露出部品すべての目視点検			X			
ハンドコントロール、ケーブル、 コントロールパネルの目視点検			X			
ティルト角インジケータの目視点検			X			
キャスターの清掃と検査			X			
マットレス、アームレスト、クッション 及びヘッドピローの目視点検			X			
バッテリーの目視点検			X			
機能試験の実施			X			
緊急停止機能のテスト			X			
はさみ込み防止バー機能のテスト			X			
安全ベルトの交換						X
繊維カバーの交換						X
有資格担当者のみによる年次点検					X	

## 介助者の義務

本取扱説明書の手順に従い、*Sara Combilizer* に関する十分な知識を持った担当者によって、介助者の義務を実施してください。

本製品が意図されたように作動しない場合は、有資格担当者にお問い合わせください。

図 1



## 毎回の使用前

### 安全ベルトの目視点検

*Sara Combilizer* を使用する前に、安全ベルトを以下のように点検する必要があります：

*Sara Combilizer* をテイルトテーブルエンド姿勢 (75°) にします。(図 1 参照) 以下をチェックします：

- 安全ベルト全体にわたって摩損、切れ目、縫い目のほつれがないこと。
- バックルが損傷しておらず、開閉できること。
- アタッチメントストラップが *Sara Combilizer* へ安全に取り付けられていること。

ベルトが損傷している場合、使用しないでください。新しいベルトを注文する必要があります。

## 患者間

### クリーニング / 消毒

*Sara Combilizer* は使用后、消毒するようにしてください。49 ページの「患者間のクリーニング / 消毒」のセクションを参照してください。

## 毎週

毎週、以下の点検を行う必要があります：

**注記**  
損傷を発見した場合、損傷した部品を直ちに交換してください。必要に応じて、有資格担当者に連絡してください。

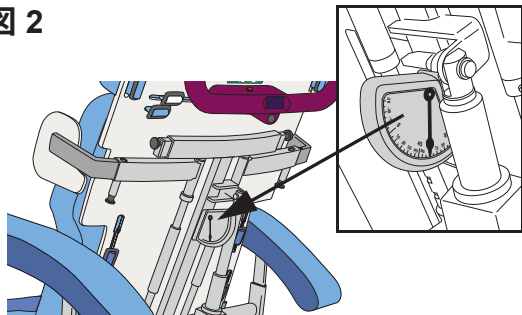
### 露出部品すべての目視点検

*Sara Combilizer* をテイルトテーブルエンド姿勢 (75°) にします。(図 1 参照) 以下の部品に怪我を引き起こす恐れのある損傷、クラック、とがった部分がないかチェックします：

- フットサポート
- アームレスト
- ショルダーサポート
- 背もたれプレート上の搬送ハンドル

次のページへ続く

図 2



## ティルト角インジケータの目視点検

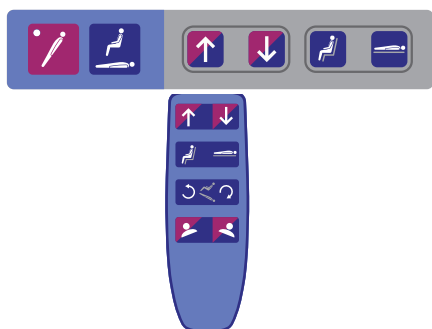
以下のようにティルト角インジケータをチェックします:

- *Sara Combilizer* がティルトテーブルエンド姿勢にあることを確認してください。ティルト角インジケータは  $75^{\circ} \pm 5^{\circ}$  を示しているものとします。  
(図 2 参照)
- ティルトテーブルを下降させて、ティルト角インジケータの針が自由に動くことを確認してください。
- *Sara Combilizer* を水平ストレッチャー姿勢にします。ティルト角インジケータは  $0^{\circ} \pm 5^{\circ}$  を示しているものとします。

### 注記

*Sara Combilizer* が横に傾けられているときは、ティルト角インジケータは動作しません。

図 3

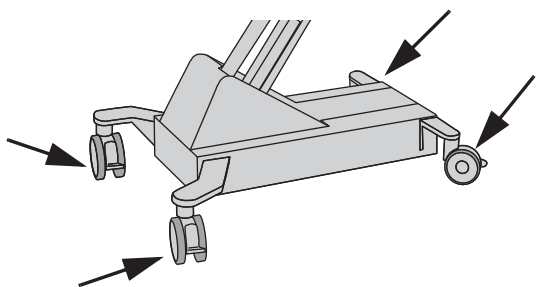


## ハンドコントロール、ケーブル、コントロールパネルの目視点検

ハンドコントロール、ケーブル、コントロールパネルを以下のように点検します:

- 怪我を引き起こしたり、機器の清掃/消毒を困難にする恐れのあるクラックやとがった部分がないかチェックします。(図 3 参照)
- ハンドコントロールとコントロールパネルのディスプレイが取り付けられていて、損傷していないことをチェックします。

図 4



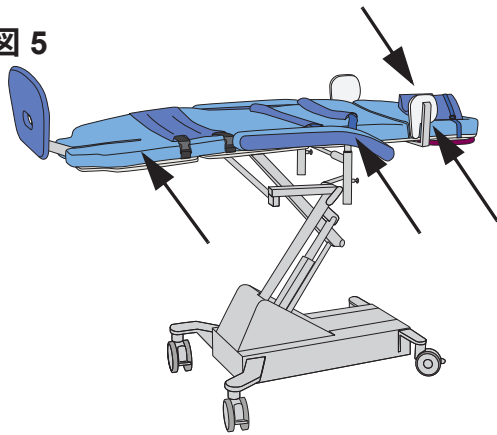
## キャスターの清掃と検査

以下のようにキャスターを清掃及び点検します:

- キャスターをチェックして、目に見える汚れを除去します。
- キャスターの動きをチェックして、自由に回転及び旋回することを確認してください。(図 4 参照)
- ブレーキをかけます。ブレーキがかかっている状態では、*Sara Combilizer* を押してもキャスターは動かないものとします。4 個のキャスターすべてに繰り返し実施してください。
- 4 個のキャスターすべてにブレーキをかけます。あらゆる方向に押しても *Sara Combilizer* は動かないことを確認します。

次のページへ続く

図 5

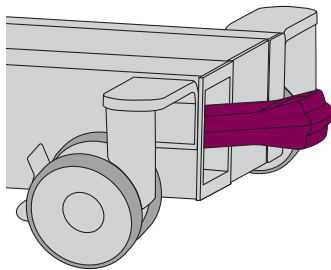


## マットレス、アームレスト、クッション及びピローの目視点検

マットレス、アームレスト、クッション及びピローを以下のように目視点検します：

- 繊維品の洗浄 / 消毒を困難にする恐れのある、孔、クラック、亀裂がないことをチェックします。  
(図 5 参照)
- 深刻な変色 / 汚染がないかチェックします。
- マットレスやピローを取り付けるためのストラップがすべて破損しておらず、マットレスにしっかりと接続されていることをチェックします。摩損、切れ目、縫い目のほつれはあってはなりません。
- スリッロックがすべて損傷していないことをチェックします。

図 6

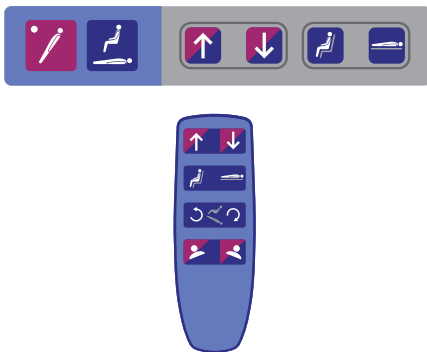


## バッテリーの目視点検

以下のようにバッテリーをチェックします：

- バッテリーケースに破損がなく、バッテリー接続プラグにも損傷 / 緩みがないことをチェックします。  
(図 6 を参照)
- バッテリーに漏れがないことをチェックします。
- 交換用バッテリーも同様にチェックしてください。

図 7



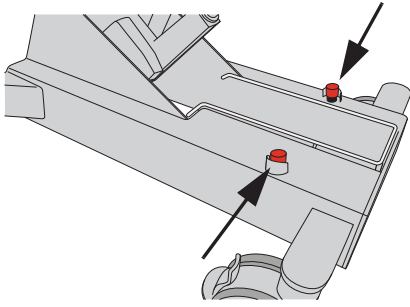
## 機能テストの実施

以下のように機能試験を実施します：

- ハンドコントロールとコントロールパネルで各機能を順次実施します。(図 7 参照)
- 最初から最後の姿勢まであらゆる動きをテストします。コントロール機能のセクションに従って、すべてのボタンが作動する必要があります。
- 動作中に異音がないかチェックします。
- ハンドコントロールが機能しない場合、交換してください。
- 意図したとおりコントロールパネルが機能しない場合、あるいは異音が発生する場合、有資格担当者にご連絡ください。

次のページへ続く

図 8

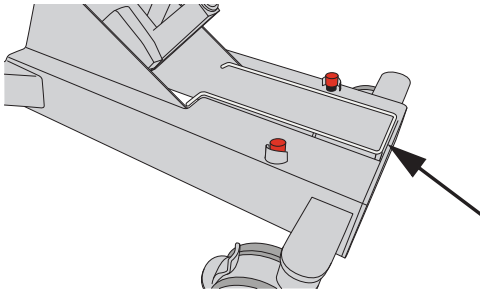


### 緊急停止機能のテスト

以下のように非常停止機能をテストします：

- 非常停止ボタンの1つを作動させます。(図8参照)
- ハンドコントロールまたはコントロールパネルのボタンを押しても、機器が動かないことをチェックします。
- 緊急停止をリセットします。
- ハンドコントロールまたはコントロールパネルのボタンを押すと、機器が動作することをチェックします。
- 2番目の緊急停止ボタンも上述の試験を実施します。

図 9



### はさみ込み防止バー機能のテスト

以下のようにはさみ込み防止バー機能をテストします：

- ハンドコントロールの「下降」ボタンを押し続けます。
- 2つのシャーシビーム間にあるはさみ込み防止バーを押し下げます。(図9参照)
- *Sara Combilizer* が停止して、動作しないことを確認してください。
- はさみ込み防止バーを離します。
- 「下降」ボタンを押し続けます。
- *Sara Combilizer* が下降することを確認してください。

### 有資格担当者のみによる年次点検

*Sara Combilizer* は、メンテナンスと修理マニュアルに従って、1年に1回保守点検を推奨しています。

#### 警告

怪我を防止し、製品を安全に使用するため、正しい工具、部品および手順の知識を有する、有資格担当者により適切な頻度で保守作業を実施しなければなりません。有資格担当者は、本製品の研修履歴を記録する必要があります。

#### 注記

すべての介助者は有資格担当者によるサービスの実施時、適切に行われたか確認してください。詳しくは、個別のサービス説明書をご覧ください。



# トラブルシューティングとアラーム

## トラブルシューティング

操作を開始する前に、Sara Combilizer バッテリーが充電あるいは交換されていて、正しく取り付けられていることを必ず確認してください。各ステップの後、次のステップに進む前に問題が解決されているかどうかチェックします。


想定される問題 (Sara Combilizer の使用)	措置 (下の措置を記載順に実施してください。)
<p><b>ハンドコントロールが応答しない。</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Sara Combilizer の周囲、上あるいは下に障害物がないことを確認してください。</li> <li>2. 患者の体重が 200 kg (440 lbs) を超えていないことを確認してください。</li> <li>3. 両方の緊急停止ボタンが解除されていることを確認します。</li> <li>4. ハンドコントロール接続を外して、完全に挿入されるようプラグを再度取り付けます。</li> <li>5. はさみ込み防止機能が作動されていないことを確認してください。</li> <li>6. ハンドコントロールケーブルを外して、コントロールパネルからストレッチャー/チェア/ティルトテーブルを動かしてみてください。</li> <li>7. コントロールパネルが機能する場合、ハンドコントロールを交換します。</li> <li>8. 問題が直らない場合、患者を降ろしてください。必要であれば、操作ボックスを使用してください。</li> <li>9. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>
<p><b>コントロールパネルによるモードの変更モードの変更は不可能です。</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Sara Combilizer の周囲、上あるいは下に障害物がないことを確認してください。</li> <li>2. 患者の体重が 200 kg (440 lbs) を超えていないことを確認してください。</li> <li>3. はさみ込み防止機能が作動されていないことを確認してください。</li> <li>4. 両方の非常停止ボタンが非アクティブであること確認します。</li> <li>5. LED ランプが点滅を終了して点灯（立位モード）あるいは消灯（標準モード）するまで「モードの変更」ボタンを押すことで、Sara Combilizer が正しい姿勢にあることを確認してください。</li> <li>6. 問題が直らない場合、患者を降ろしてください。必要であれば、操作ボックスを使用してください。</li> <li>7. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>
<p><b>ティルトテーブルの下降を解除した後もストレッチャーがロックしない。</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 搬送ハンドル/ストレッチャーの頭部先端を下へしっかり押してください。</li> <li>2. 問題が直らない場合、患者を降ろしてください。</li> <li>3. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>

想定される問題 ( <i>Sara Combilizer</i> の使用)	措置 (下の措置を記載順に実施してください。)
<b>搬送</b> 搬送中、チェアの操縦が困難である。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <i>Sara Combilizer</i> の周囲や下に障害物がないことを確認してください。</li> <li>2. ブレーキをすべて解放します。</li> <li>3. すべてのキャスターに汚れや異物等が付いていないことを確認してください。</li> <li>4. 全キャスターが自由に回転及び旋回することを確認してください。</li> <li>5. 問題が直らない場合、患者を降ろしてください。</li> <li>6. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>
<b>ブレーキが作動しない。</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャスター/ブレーキに異物等がはまり込んでいないことチェックし、必要に応じて除去してください。</li> <li>2. 問題が直らない場合、患者を降ろしてください。</li> <li>3. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>
<b>左右ティルトが水平姿勢で停止しない。</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレッチャーが水平姿勢を通り過ぎて反対側で停止するまで、左右ティルトボタンのいずれかを押します。</li> <li>2. 反対側のティルトボタンを押します：ストレッチャーは水平姿勢で停止します。</li> <li>3. ストレッチャーが水平姿勢で停止しない場合、患者を降ろします。</li> <li>4. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>
<b>左右ティルト機能が立位モードで働かない。</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フットサポートがフロアに接触していないことを確認してください。</li> <li>2. フットサポートがフロアに接触している場合、<i>Sara Combilizer</i> を下降させて、フットサポートが最も高く最も内側の位置になるよう調節してください。</li> <li>3. 問題が解決しない場合、患者を降ろします。</li> <li>4. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>
<b>非常機能ボックス機能が働かない。</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者を降ろします。</li> <li>2. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>

## アラーム

アラーム/サウンド	措置
<b>サウンド通知</b> コントロールパネルまたはハンドコントロールのボタンを押すと短いブザー音が一定間隔で鳴る。	バッテリーのレベルが低くなっています。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充電済みのバッテリーに交換してください。</li> <li>2. 問題が直らない場合、患者を降ろしてください。</li> <li>3. 有資格担当者に連絡してください。</li> </ol>

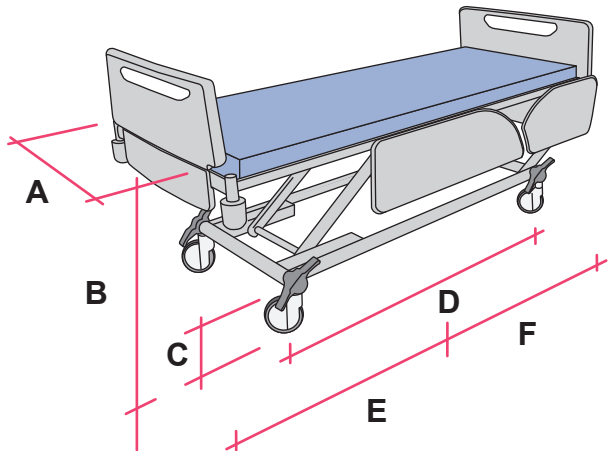
# 技術仕様

一般	
安全耐荷重 (SWL) = 最大荷重	200 kg (440 lbs)
患者の最大体重	200 kg (440 lbs)
最大合計重量 (Sara Combilizer + 患者)	315 kg (694 lbs)
Sara Combilizer の重量	115 kg (254 lbs)
モデルとタイプ	APA1 XXX XX (XXX= 変数、XX = 各国固有) APA1 000 WW (000= 標準、WW = 全世界)
保護等級 IP：防水防塵保護等級 X：物体の接触や侵入に対する保護は、本製品について規定されていません。 4：本製品にどこから水がかかった場合でも、安全性や基本性能に影響はありません	IPX4
保護等級 - ハンドコントロール IP：防水防塵保護等級 X：物体の接触や侵入に対する保護は、本製品について規定されていません。 6：本製品に強い水流がどの方向からかかっても、安全性や基本性能に影響はありません	IPX6
ヘルスケア・福祉機器	タイプ B 
保護等級	電池式
操作力： 押しボタン - コントロールパネル - ハンドコントロール - ティルトテーブル解除ボタン - 緊急停止 - 非常機能ボックス	2 N 4 N 5 N 18 N 18 N 52 N
ブレーキ	
リフト公称電圧	24V DC
バッテリー部品番号	NEA0100-083
バッテリータイプ	NiMH (ニッケル水素)
バッテリー容量	2.5Ah
バッテリー電圧	24V DC
バッテリー充電器の部品番号	NEA 8000-WW, NEA 8000-AU
最大デューティサイクル - 上昇 / 下降アクチュエータ	10% (2分 ON、18分 OFF)
最大デューティサイクル - チェア / ストレッチャーアクチュエータ	10% (2分 ON、18分 OFF)
最大デューティサイクル - 後方 / 直立ティルトアクチュエータ	10% (2分 ON、18分 OFF)
最大デューティサイクル - 左 / 右ティルトアクチュエータ	10% (2分 ON、18分 OFF)

一般	
騒音レベル	50 dB (A)
ハンドコントロールケーブル	50 cm (19 5/8") コイル 150 cm (59") 伸ばした場合の最大長
汚染度	2
ティルト角インジケータの動作範囲	-30° から 90°
ティルト角インジケータの正確性と精度	5°
最大電力	200 W

耐火等級	EN 1021-1 と EN1021-2 規格に準拠
材質：	
安全ベルト	ポリエステル (PES)
マットレス、クッション及び頭部ピローフォーム	ポリウレタン (PU)
マットレス、クッション及び頭部ピローカバー	ポリウレタンコーティングされたポリエステル繊維
ベルトパッドとフットサポートブロック	ポリエチレン (PE)

コンポーネント重量	
フットサポート重量	5.8 kg (12.8 lbs)
ショルダーサポート重量	0.9 kg (2.0 lbs)
アームレスト重量	3,1 kg (6,8 lbs)
繊維キット重量	6.1 kg (13.4 lbs)

可能な組合せ	
Sara Combilizer は以下の Arjo 製品と一体化が可能です。	Maxi Sky 440, Maxi Sky 600, Maxi Sky 1000, Maxi Sky II, Maxi Move with extra low castors, Walker, Sara Plus, Concerto, Carevo, Over bed Table PT10, PT11 及び OBT
スライディングシート	MaxiSlide シート、MaxiSlide Flites、MaxiTube Flites、MaxiTransfer、MaxiRoll および Maxi Air
ベッドフレームによる水平移乗を行う際の寸法要件：	
<p>A：ベッド / ストレッチャーの幅は、サイドレールを含めて、最低 510 mm (20 1/8") が必要です。</p> <p>B：寝台面の高さは 560 mm (22") ~ 980 mm (35 5/8") でなければなりません。</p> <p>C：Sara Combilizer キャスターに適合させるためにフロアとベッドシャーシ間のスペースは最低 170 mm (6 3/4") が必要です。</p> <p>D：頭部先端キャスターと足部先端キャスター間のスペースは最低 910 mm (35 3/4") が必要です。</p> <p>E：足部先端からベッド中央までの距離は、535 mm (21 1/8") が必要です。</p> <p>F：頭部先端からベッド中央までの距離は、375 mm (14 3/4") が必要です。</p>	
その他の組合せは使用できません。	

動作、輸送および保管	
温度	+10°C ~ +40°C (+50°F ~ +104°F)、動作時 -10°C ~ +50°C (+14°F ~ +122°F)、輸送時 -10°C ~ +50°C (+14°F ~ 122°F)、保管時
湿度	+30°C (+86°F) で 20-80% Rh、動作時 +30°C (+86°F) で 20-80% Rh、輸送時、結露無きこと +30°C (+86°F) で 20-80% Rh、保管時、結露無きこと
大気圧	800 hPa ~ 1060 hPa、動作時 800 hPa ~ 1060 hPa、輸送時 800 hPa ~ 1060 hPa 保管

リサイクル	
機器は各国の法規に従ってリサイクルしてください。	
梱包	木材と段ボール箱、リサイクル可

製品寿命の終わった Sara Combilizer の廃棄	
<ul style="list-style-type: none"> <li>製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。</li> <li>補強材、安定材、緩衝材およびその他の繊維またはポリマー、プラスチック材等を含むスリングは、可燃性廃棄物に分類してください。</li> <li>電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。</li> <li>スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品（重量で 90% 以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。</li> </ul>	



# 寸法

測定単位：mmおよびインチ(″)

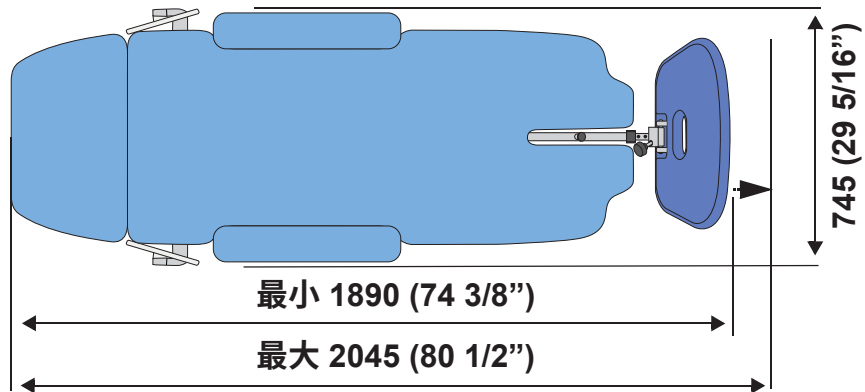
公差：

>200 mm ±20 mm

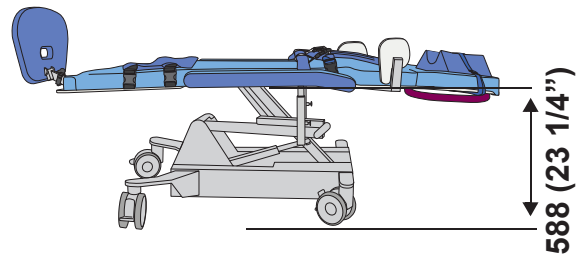
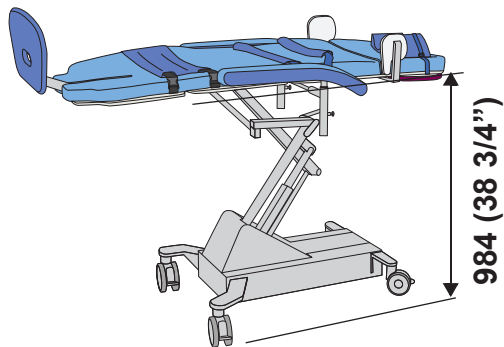
≤200 mm ±5 mm

角度 ±2°

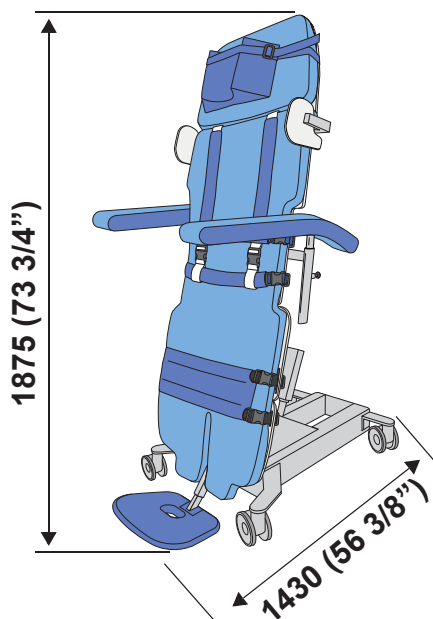
## ストレッチャーの長さ



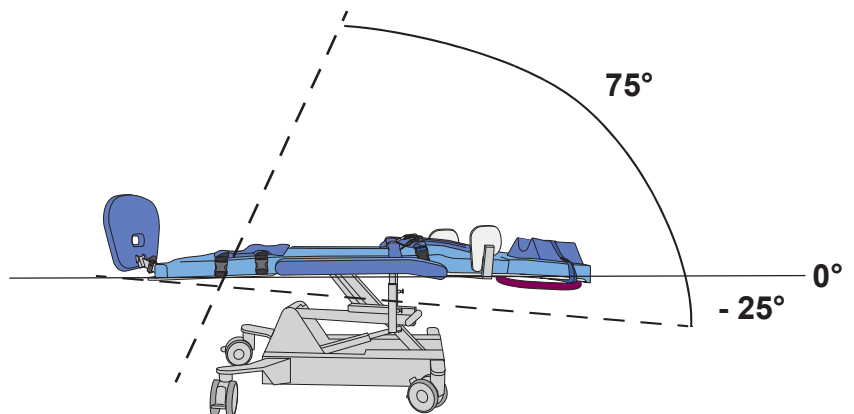
## ストレッチャーの最大及び最小高さ



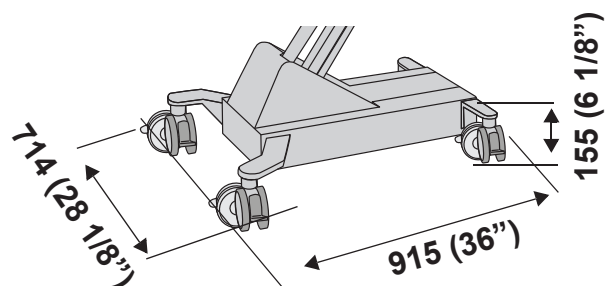
## ティルトテーブルの最大高さおよび最大深さ



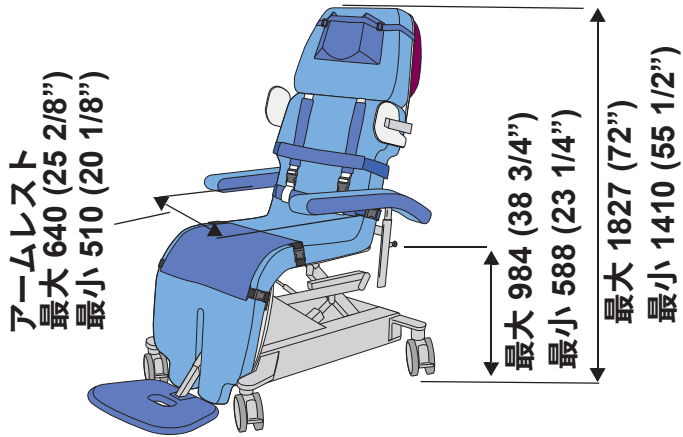
## ティルト角上昇/下降



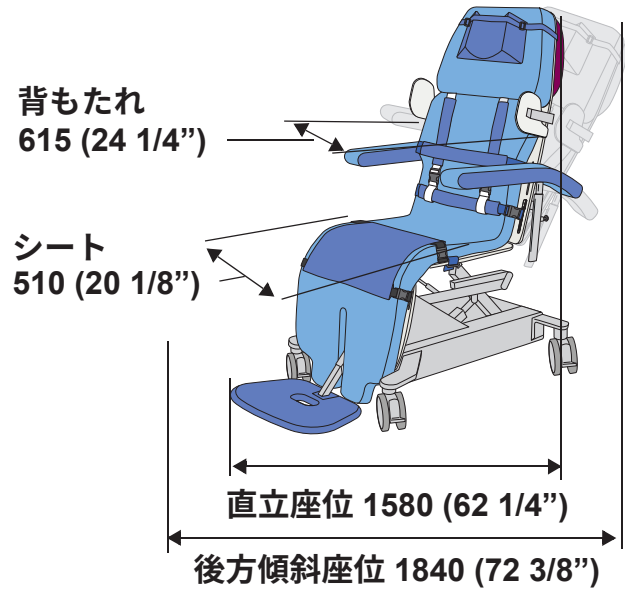
## シャーシの長さ、幅及び高さ



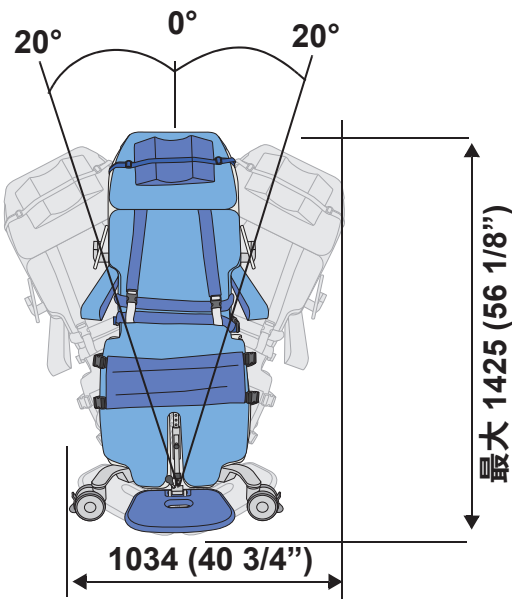
チェアの最大及び最小高さ  
アームレストの幅



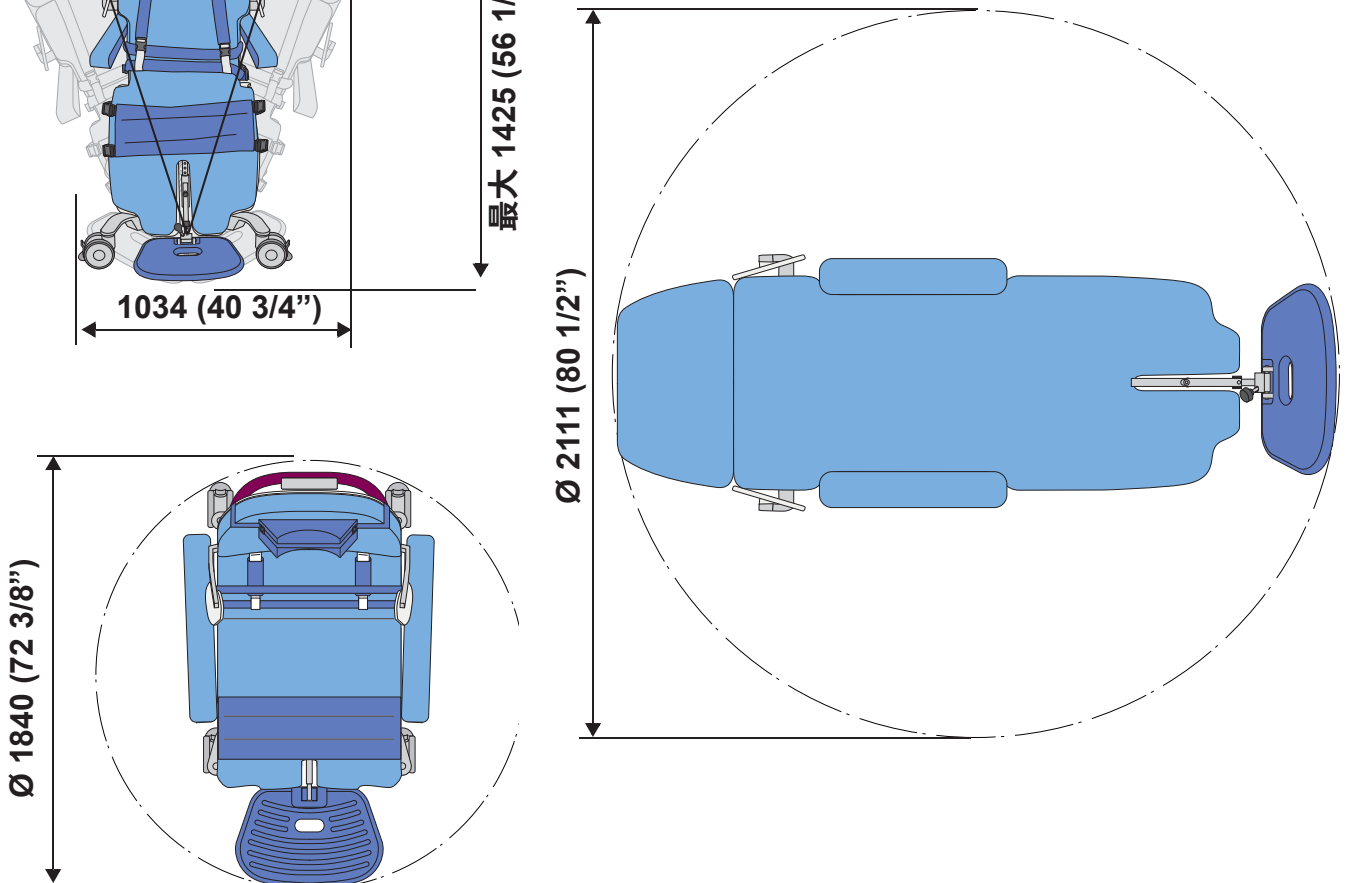
背もたれとシートの幅  
直立及び傾斜座位でのチェアの長さ



チェア横方向ティルト



ストレッチャー回転半径



# ラベル

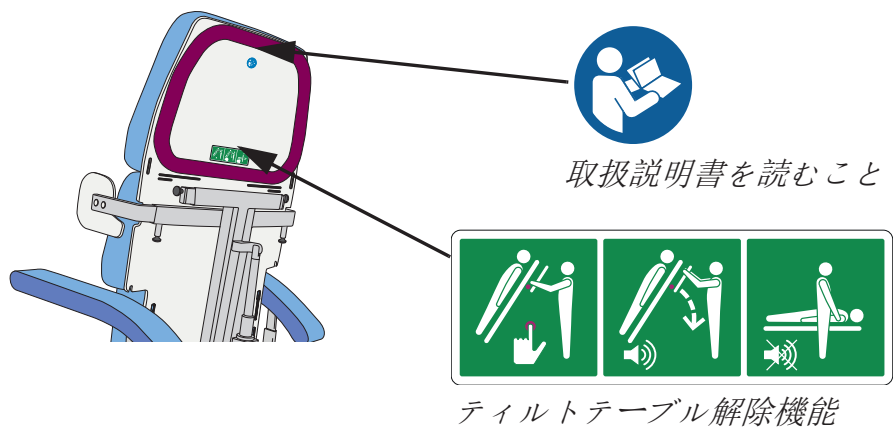
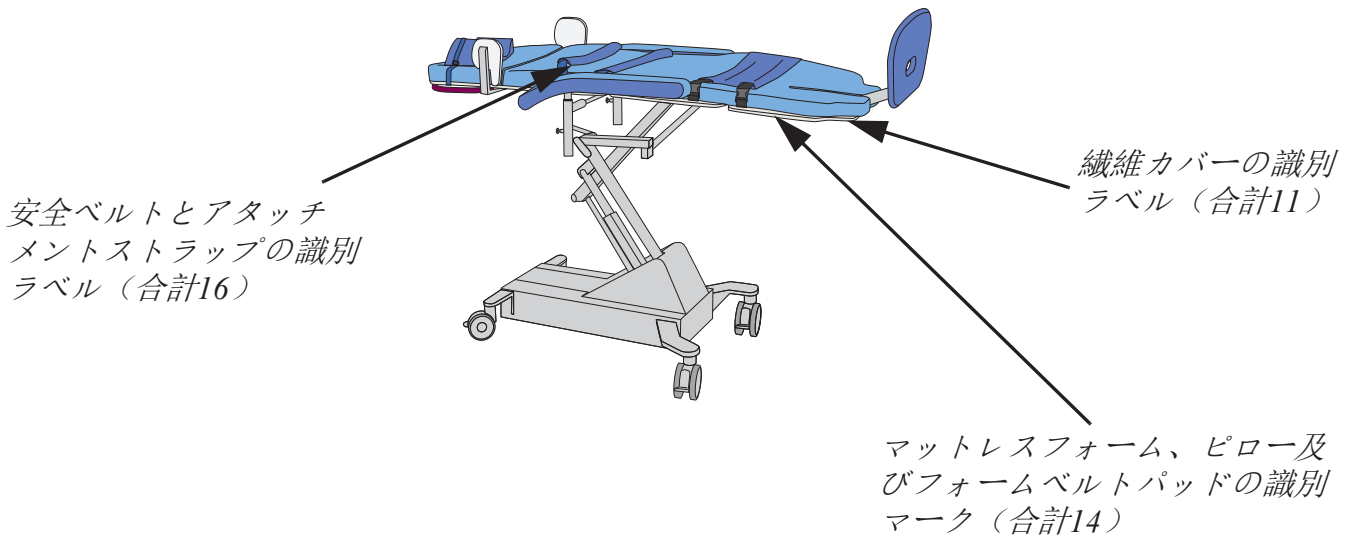
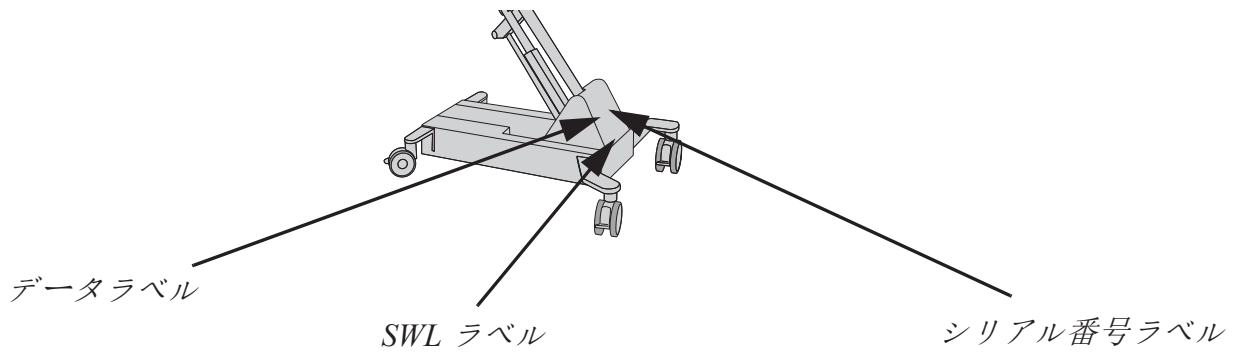
## ラベルの説明

バッテリーラベル	バッテリーの安全性と環境情報が記載されています。
データラベル	入力電力、入力電圧及び最大患者重量等の技術的性能及び要件が記載されています。
シリアル番号ラベル	製品識別、製造番号及び製造年と月が記載されています。
識別ラベル	Sara Combilizer の各部品における識別ラベル。

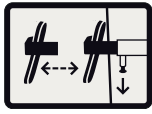
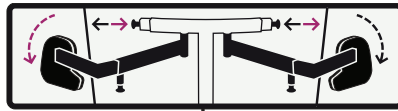
## 記号の説明

	機器の全重量。安全耐荷重を含む。
Safe Working Load	Sara Combilizer に加わる患者あるいは他の積載物の最大合計荷重を定義します。
IPX4	飛散水に対する保護等級。
24 VDC	供給電圧。
2,5 Ah	容量。
	B 等級、適用部品：IEC 60601-1 に基づく感電に対する保護。
	本取扱説明書を必ずお読み下さい。
	欧州指令 2012/19/EC (WEEE) に基づく、リサイクル用電気及び電子コンポーネントの分別。
	デューティサイクル 2 分 ON、18 分 OFF。
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング。
	モデル番号。
	シリアル番号。
	メーカー名及び住所。
	TÜV SÜD を通して NRTL 承認取得。

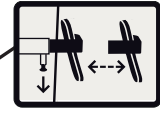
	環境危険。 廃棄不可。
	充電バッテリー。
	有効期限。
	洗浄標準プロセス 最大 70°C / 158°F。
	漂白しないこと。
	標準温度で回転乾燥可能。
	アイロンを使用しないでください。
	洗浄標準プロセス 最大 60°C / 140°F。
	リサイクル可
	取扱説明書を読むこと。
	緊急停止ボタン識別。
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した医療機器であることを示します。
	機器固有識別子 (UDI)。



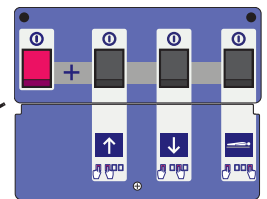
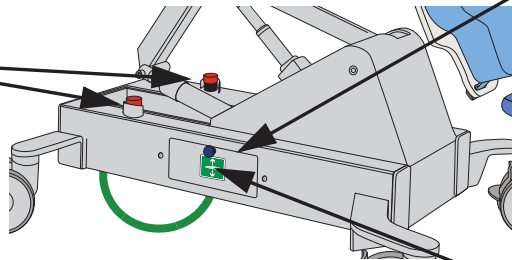
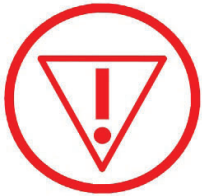
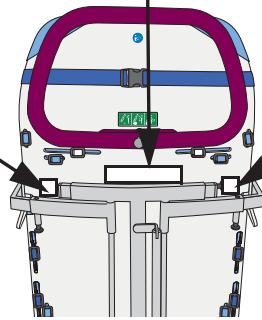
ショルダーサポートを折りたたむ



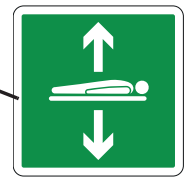
ショルダーサポートを調節する



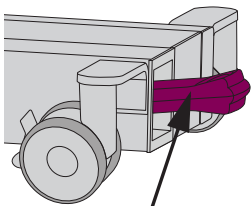
ショルダーサポートを調節する



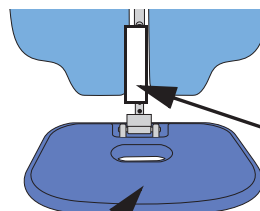
ボックス内の操作ボタン



操作ボックス



バッテリーラベル



フットサポート



フットサポート識別

意図的に空白のままに



# 電磁環境適合性 (EMC)

本製品は、外部環境から EMI（電磁干渉）を遮断する能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁干渉の軽減に役立ちます。

- 機器の正しい機能を損ないかねない、放射の増加あるいは耐性の減少を回避するため、Arjo ケーブルおよび予備部品だけを使用してください。
- 患者様のモニタリングおよび / または生命維持装置などが、電磁エミッション規格に準拠しているか確認してください。

## 警告

無線コンピュータネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話およびその基地局、トランシーバーなどの無線通信機器は、本製品に影響を与えることがあるため、製品から少なくとも 1.5 m の間隔を置いて配置する必要があります。

意図された環境： 専門ヘルスケア施設環境


例外： 磁気共鳴映像法用 ME システムの高周波手術器具および無線シールドルーム

## 警告

本製品を他の機器に隣接して、または他の機器と積み重ねて使用すると、誤作動することがあります。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常に作動しているか、まず確認してください。

## ガイダンスとメーカーの宣言 – 電磁界エミッション

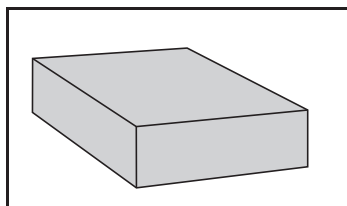
エミッション試験	コンプライアンス	ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	本製品は RF エネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いいため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。
RF 放射 CISPR 11	クラス B	本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。

ガイドランスとメーカー宣言 – 電磁環境耐性			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 – ガイドランス
静電気放電 (ESD)  EN 61000-4-2	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中  ±8kV 接触	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中  ±8kV 接触	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材に変更された場合、相対湿度は最低 30% にしなければなりません。
RF 場により惹起された電動妨害  EN 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V  0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V  0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	通信機の出力電力定格が電磁気の実地調査で判定される通り、固定 RF 発信機から磁界強度 1W <sup>a</sup> を超過する場合、携帯及びモバイル RF 通信機器は、ケーブルを含めて本製品のあらゆる部分から 1.0 メートルより近くで使用すべきではありません。固定 RF 送信機からのフィールド強度は、電磁サイト調査によって決定されている通り、各周波数範囲 <sup>b</sup> のコンプライアンスレベルよりも少ない値にしなければなりません。
放射 RF 電磁場 EN 61000-4-3	専門ヘルスケア環境 3 V/m  80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	専門ヘルスケア環境 3 V/m  80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	この記号が記された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。
RF 無線通信機器の近接フィールド  EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m  450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m  450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	
電氣的ファースト? トランジェント / バースト EN 61000-4-4	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	
電力周波数磁界  EN 61000-4-8	30 A/m  50 Hz または 60 Hz	30 A/m  50 Hz	電力周波数磁界は、一般商用または病院環境での典型的な場所での特性レベルである必要があります。

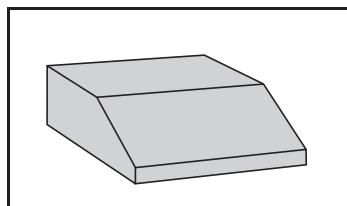
a 無線（携帯 / コードレス）電話と陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送局及び TV 放送局のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁実地調査の実施を検討するようにしてください。本製品が使用される場所における測定電界強度が適用される RF 適合性レベルを超える場合は、本製品を観察し、正常な操作を確認する必要があります。異常な性能が認められた場合、追加測定が必要になることがあります。

b 150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲外にある場合、電界強度は 1 V/m 未満でなければなりません。

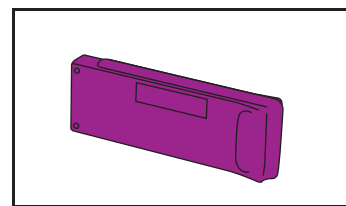
# 部品とアクセサリ



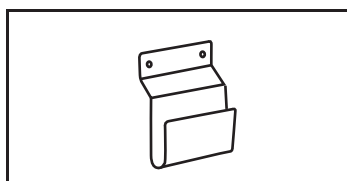
矩形フットサポート  
ブロック (2)  
8663850-09



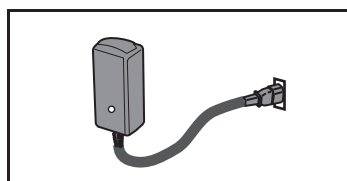
くさび形フットサポート  
ブロック (2)  
8663849-09



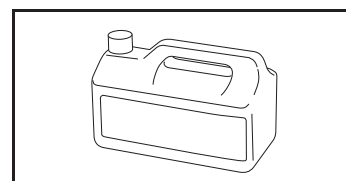
バッテリー  
NEA0100-083



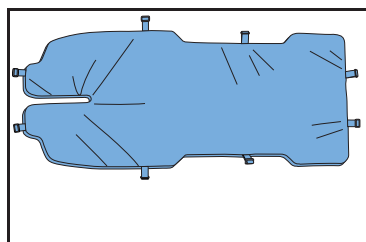
バッテリーホルダー  
8350891-031



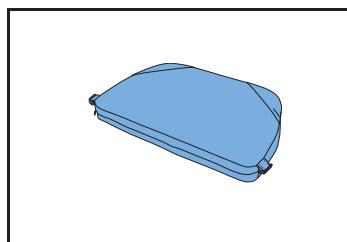
バッテリー充電器  
NEA8000



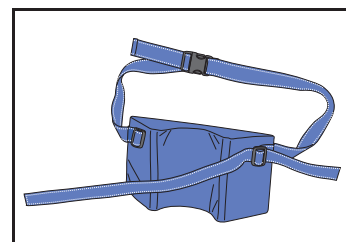
消毒液  
お近くの代理店へ



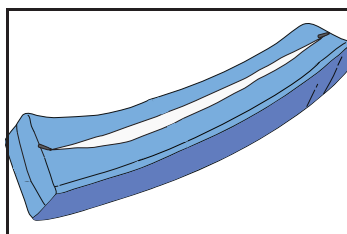
ボディマットレス  
すべて-AH1004031  
カバーのみ - AH1004035



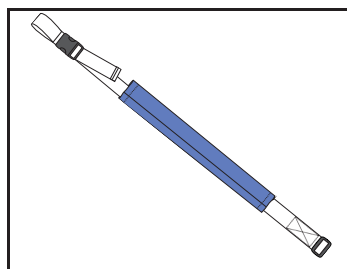
頭部マットレス  
すべて- 8663942-014  
カバーのみ - 8663943-014



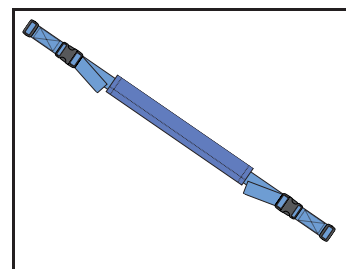
ピロー  
すべて- 8663947-013



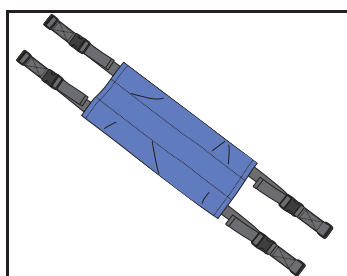
\*アームレストクッション  
すべて- AH1005467  
カバーのみ - AH1004109



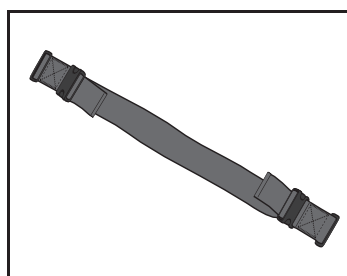
ホルダーベルト2個  
8547118-013



胸部及び臀部ベルト2個  
8547119-013



膝ベルト  
8547120-013



\*膝ベルトストラップ  
AH1033148

\*2個注文して、両方とも交換  
してください。

**AUSTRALIA**

Arjo Australia  
 Building B, Level 3  
 11 Talavera Road  
 Macquarie Park, NSW, 2113,  
 Australia  
 Phone: 1800 072 040

**BELGIQUE / BELGIË**

Arjo Belgium  
 Evenbroekveld 16  
 9420 Erpe-Mere  
 Phone: +32 (0) 53 60 73 80  
 Fax: +32 (0) 53 60 73 81  
 E-mail: info.belgium@arjo.com

**BRASIL**

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda  
 Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02  
 Galpão - Lapa  
 São Paulo – SP – Brasil  
 CEP: 05040-000  
 Phone: 55-11-3588-5088  
 E-mail: vendas.latam@arjo.com  
 E-mail: servicios.latam@arjo.com

**CANADA**

Arjo Canada Inc.  
 90 Matheson Boulevard West  
 Suite 350  
 CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3  
 Tel/Tél: +1 (905) 238-7880  
 Free: +1 (800) 665-4831  
 Fax: +1 (905) 238-7881  
 E-mail: info.canada@arjo.com

**ČESKÁ REPUBLIKA**

Arjo Czech Republic s.r.o.  
 Na Strži 1702/65  
 140 00 Praha  
 Czech Republic  
 Phone No: +420225092307  
 E-mail: info.cz@arjo.com

**DANMARK**

Arjo A/S  
 Vassingerødvej 52  
 DK-3540 LYNGE  
 Tel: +45 49 13 84 86  
 Fax: +45 49 13 84 87  
 E-mail: dk\_kundeservice@arjo.com

**DEUTSCHLAND**

Arjo GmbH  
 Peter-Sander-Strasse 10  
 DE-55252 MAINZ-KASTEL  
 Tel: +49 (0) 6134 186 0  
 Fax: +49 (0) 6134 186 160  
 E-mail: info-de@arjo.com

**ESPAÑA**

ARJO IBERIA S.L.  
 Poligono Can Salvatella  
 c/ Cabanyes 1-7  
 08210 Barberà del Valles  
 Barcelona - Spain  
 Telefono 1: +34 900 921 850  
 Telefono 2: +34 931 315 999

**FRANCE**

Arjo SAS  
 2 Avenue Alcide de Gasperi  
 CS 70133  
 FR-59436 RONCQ CEDEX  
 Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13  
 Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14  
 E-mail: info.france@arjo.com

**HONG KONG**

Arjo Hong Kong Limited  
 Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,  
 8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,  
 HONG KONG  
 Tel: +852 2960 7600  
 Fax: +852 2960 1711

**ITALIA**

Arjo Italia S.p.A.  
 Via Giacomo Peroni 400-402  
 IT-00131 ROMA  
 Tel: +39 (0) 6 87426211  
 Fax: +39 (0) 6 87426222  
 E-mail: Italy.promo@arjo.com

**MIDDLE EAST**

Arjo Middle East FZ-LLC  
 Office 908, 9th Floor,  
 HQ Building, North Tower,  
 Dubai Science Park,  
 Al Barsha South  
 P.O. Box 11488, Dubai,  
 United Arab Emirates  
 Direct +971 487 48053  
 Fax +971 487 48072  
 Email: Info.ME@arjo.com

**NEDERLAND**

Arjo Nederland BV  
 Biezenwei 21  
 4004 MB TIEL  
 Postbus 6116  
 4000 HC TIEL  
 Tel: +31 (0) 344 64 08 00  
 Fax: +31 (0) 344 64 08 85  
 E-mail: info.nl@arjo.com

**NEW ZEALAND**

Arjo Ltd  
 34 Vestey Drive  
 Mount Wellington  
 NZ-AUCKLAND 1060  
 Tel: +64 (0) 9 573 5344  
 Free Call: 0800 000 151  
 Fax: +64 (0) 9 573 5384  
 E-mail: nz.info@Arjo.com

**NORGE**

Arjo Norway AS  
 Olaf Helsets vei 5  
 N-0694 OSLO  
 Tel: +47 22 08 00 50  
 Faks: +47 22 08 00 51  
 E-mail: no.kundeservice@arjo.com

**ÖSTERREICH**

Arjo Austria GmbH  
 Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG  
 A-1230 Wien  
 Tel: +43 1 8 66 56  
 Fax: +43 1 866 56 7000

**POLSKA**

Arjo Polska Sp. z o.o.  
 ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2  
 PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)  
 Tel: +48 61 662 15 50  
 Fax: +48 61 662 15 90  
 E-mail: arjo@arjo.com

**PORTUGAL**

Arjo em Portugal  
 MAQUET Portugal, Lda.  
 (Distribuidor Exclusivo)  
 Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G  
 PT-1600-233 Lisboa  
 Tel: +351 214 189 815  
 Fax: +351 214 177 413  
 E-mail: Portugal@arjo.com

**SUISSE / SCHWEIZ**

Arjo Switzerland AG  
 Fabrikstrasse 8  
 Postfach  
 CH-4614 HÄGENDORF  
 Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77  
 Fax: +41 (0) 61 311 97 42

**SUOMI**

Arjo Scandinavia AB  
 Riihitontuntie 7 C  
 02200 Espoo  
 Finland  
 Puh: +358 9 6824 1260  
 E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

**SVERIGE**

Arjo International HQ  
 Hans Michelsensgatan 10  
 SE-211 20 MALMÖ  
 Tel: +46 (0) 10 494 7760  
 Fax: +46 (0) 10 494 7761  
 E-mail: kundservice@arjo.com

**UNITED KINGDOM**

Arjo UK and Ireland  
 Houghton Hall Park  
 Houghton Regis  
 UK-DUNSTABLE LU5 5XF  
 Tel: +44 (0) 1582 745 700  
 Fax: +44 (0) 1582 745 745  
 E-mail: sales.admin@arjo.com

**USA**

Arjo Inc.  
 2349 W Lake Street Suite 250  
 US-Addison, IL 60101  
 Tel: +1 (630) 307-2756  
 Free: +1 (800) 323-1245  
 Fax: +1 (630) 307 6195  
 E-mail: us.info@arjo.com

**JAPAN**

Arjo Japan K.K.  
 東京都港区虎ノ門三丁目7番8号  
 ランディック第2 虎ノ門ビル9 階  
 Tel: +81 (0)3-6435-6401  
 Fax: +81 (0)3-6435-6402  
 E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.



ArjoHuntleigh AB  
Hans Michelsensgatan 10  
211 20 Malmö, Sweden  
[www.arjo.com](http://www.arjo.com)

**arjo**

